

ユーザー部材

目次

| | |
|--------------------|----|
| ●ユーザー部材の登録 | 3 |
| 1.ユーザー部材の登録(2D) | 4 |
| 2.ユーザー部材の登録(3D) | 10 |
| 3.ユーザー部材の登録(2D+3D) | 14 |
| 4.ユーザー接続口 | 17 |
| 5.ユーザー有意点 | 22 |
| 6.単線の登録 | 25 |
| 7.Stemの利用 | 27 |
| 8.システム部材の編集 | 31 |
| ●ユーザー部材の編集 | 35 |
| 1.登録内容の編集 | 36 |
| 2.ユーザー部材の削除 | 39 |
| 3.登録位置の移動 | 40 |
| 4.ダイアログのカスタマイズ | 41 |
| ●ユーザー部材の保存/読み込み | 47 |
| 1.ユーザー部材の保存 | 48 |
| 2.ユーザー部材の読み込み | 49 |
| 3.読み取り専用のユーザー部材 | 51 |

更新日:2014/12/12 Rebro2013SP1 対応

ユーザー部材の登録

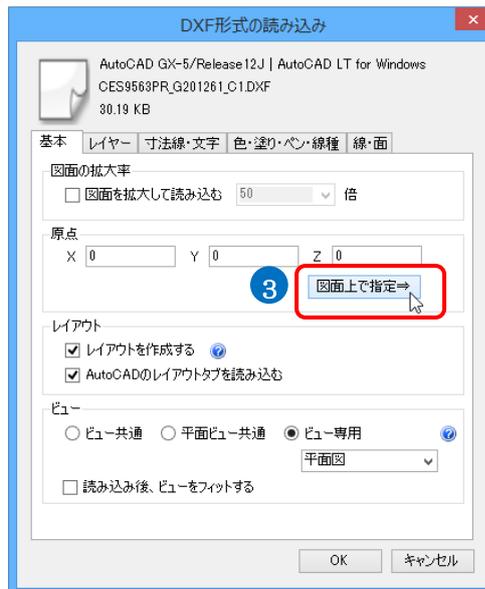
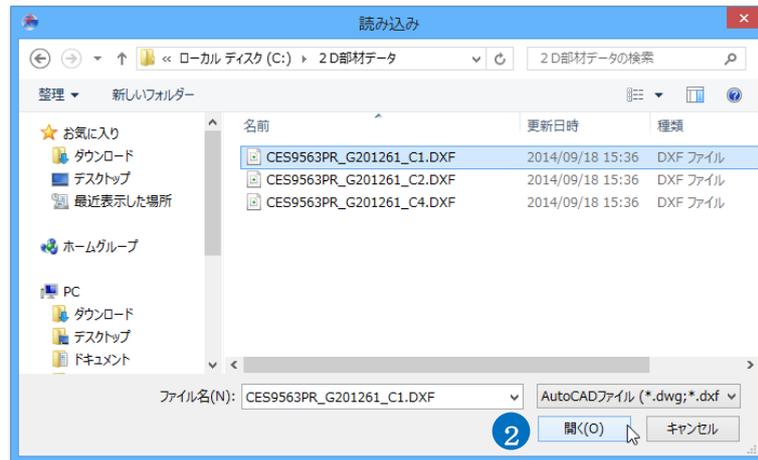
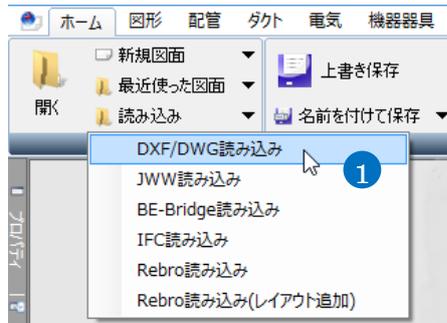
1. ユーザー一部材の登録(2D)

2D データ(DXF/DWG/JWW)の汎用図形をユーザー一部材として登録します。

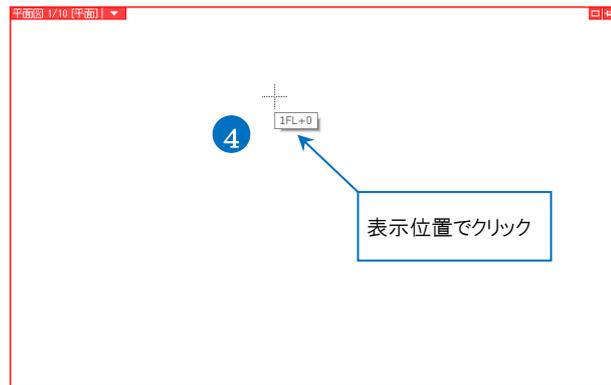
DXF ファイルの読み込み

- 1 [ホーム]タブー[読み込み]をクリックし、[DXF/DWG 読み込み]を選択します。
- 2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックします。
- 3 [図面上で指定⇒]をクリックします。

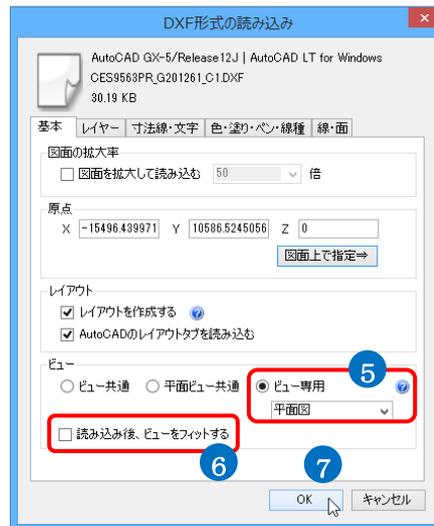
そのまま読み込むとデータが重なって表示されることがあります。原点を図面上で指定することで重ならずに表示することができます。



- 4 図面上で位置を指定します。



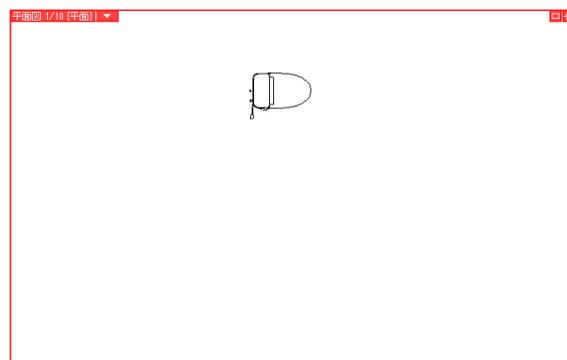
- 5 [DXF 形式の読み込み]ダイアログから読み込みビュー「ビュー専用」を選択します。



- 6 [読み込み後、ビューをフィットする]のチェックを外します。

チェックを入れると、図面がビューいっばいに表示されるように縮尺と表示位置を調整します。ここでは表示位置が変わらないようにチェックを外します。
※チェックの有無は前回値が引き継がれます。

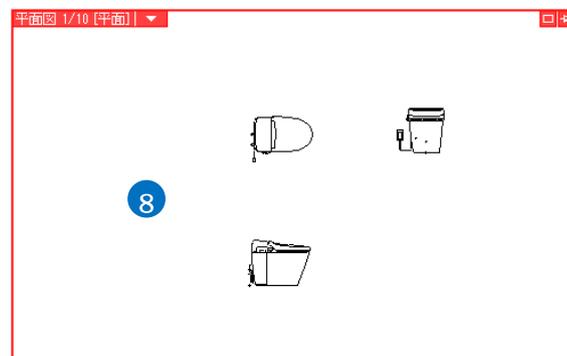
- 7 [OK]をクリックします。
→DXF データが指定した位置を基準に表示されます。



- 8 同様に各方向の DXF ファイルを、表示位置を指定して読み込みます。

Memo

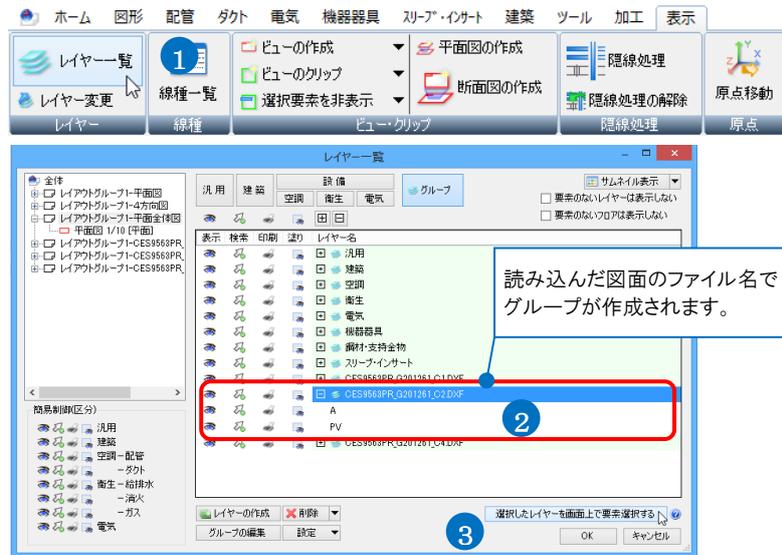
ユーザー部材に配管やダクトの接続口を追加することができます。p.17「ユーザー部材の登録」の「4.ユーザー接続口」を参照してください。



● 補足説明

読み込んだデータ同士が重なった場合、移動して位置を調整します。

① [表示]タブ-[レイヤー一覧]をクリックします。



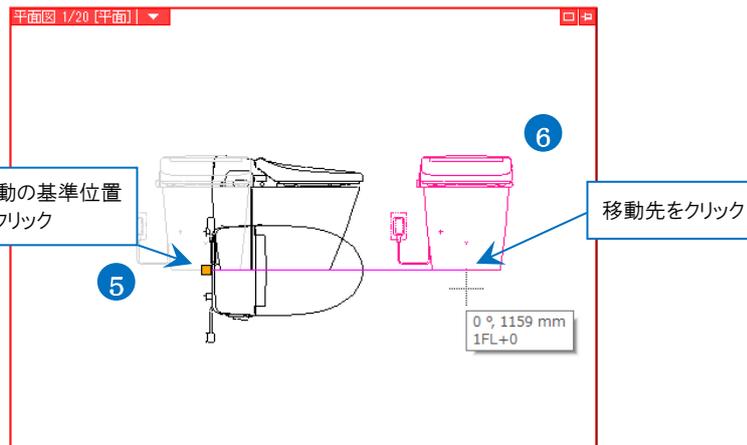
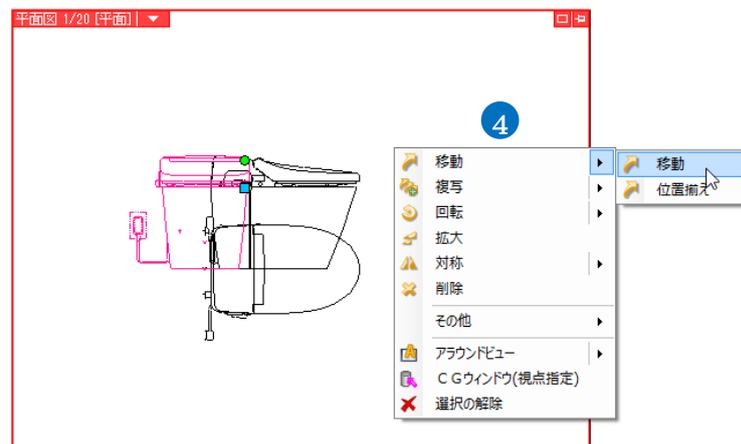
② 読み込んだ DXF ファイルごとにグループが作成されます。
移動する DXF ファイルのグループを選択します。

③ [選択したレイヤーを画面上で要素選択する]をクリックします。
→選択したグループの要素を一括で選択できます。

④ コンテキストメニューより[移動]コマンドをクリックします。

⑤ 移動の基準位置を指定します。

⑥ 重ならない位置まで移動し、クリックします。
→DXF データの移動ができます。

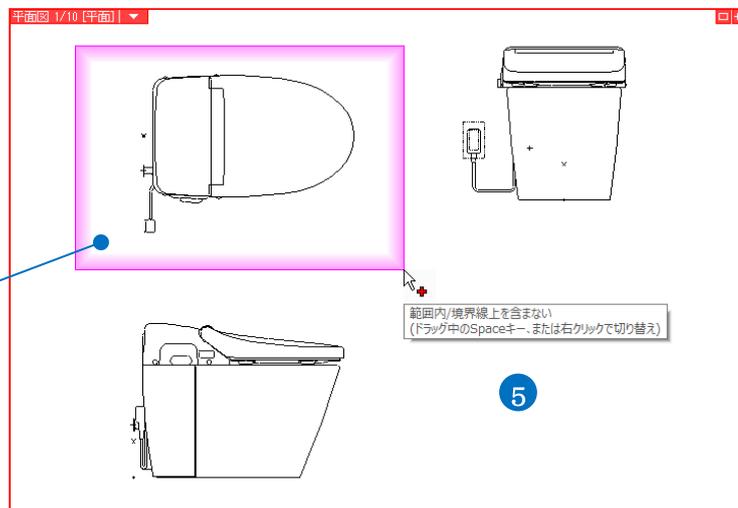
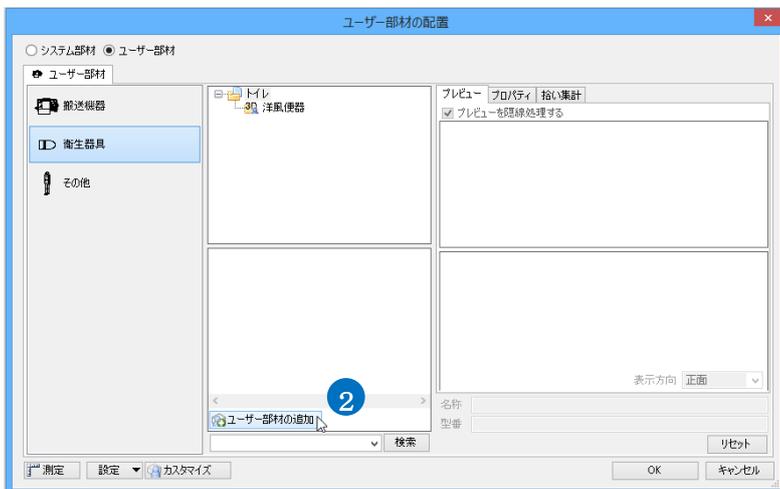


2D データを登録する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。

Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。
- 3 名称と型番を入力します。
- 4 部材データを登録します。平面方向の「登録」をクリックします。
- 5 平面方向に登録する部材データを選択します。
- 6 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



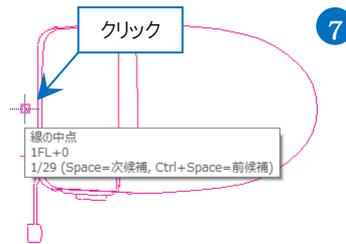
部材は選択した時の向きで登録します。
必要に応じて反転、回転を行います。

7 部材の基準位置を指定します。

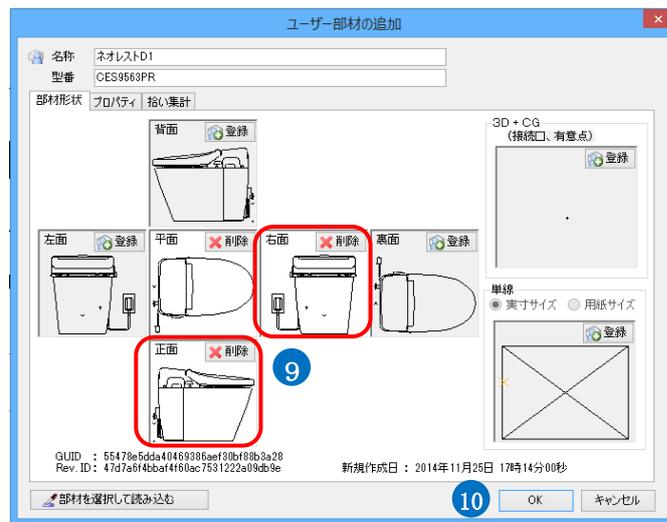
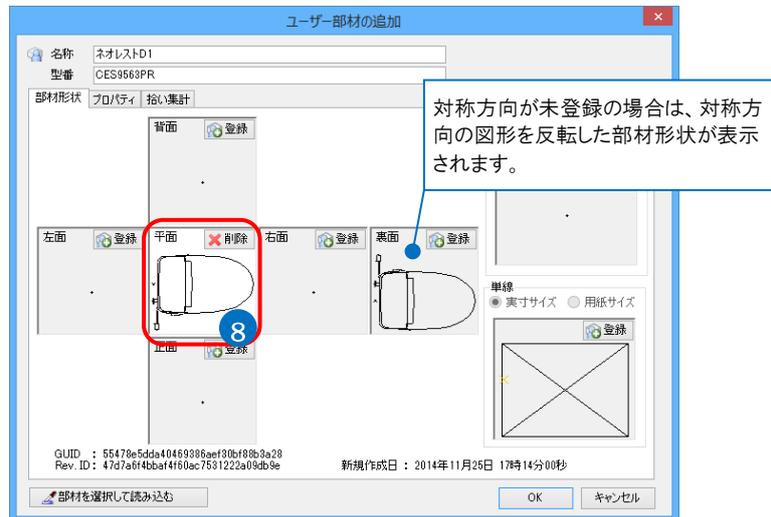
8 「平面」に登録されます。

9 同様に正面方向と右面方向も登録します。

10 [OK]をクリックします。
→部材が登録されます。



Memo
ユーザー部材に配管やダクトの接続口を追加することができます。p.17「ユーザー部材の登録」の「4.ユーザー接続口」を参照してください。



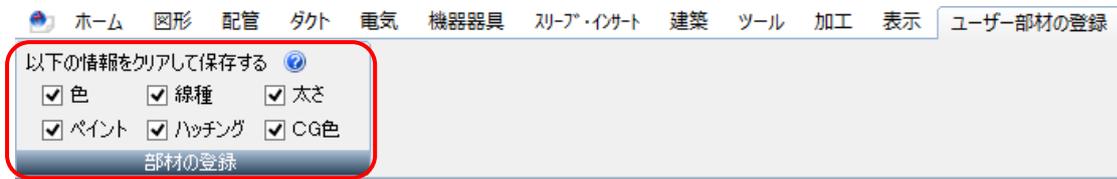
● 補足説明

2D データを「3D+CG」に登録すると、アイソメ図や CG に表示できます。

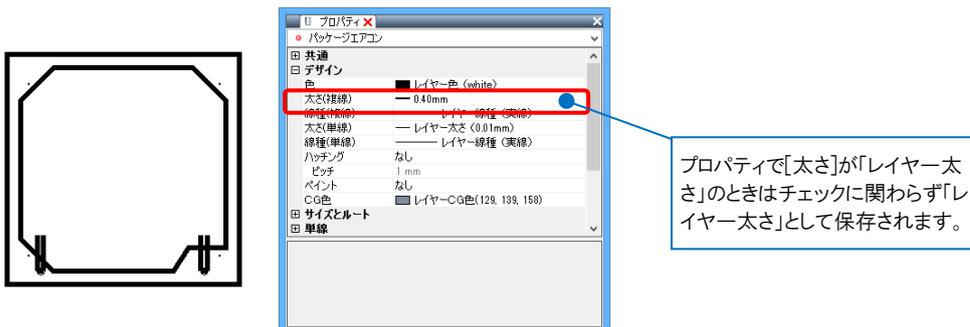


● 補足説明

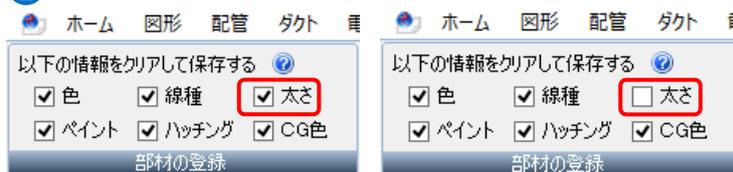
ユーザー部材を登録する時に[部材の登録]のチェックを入れると部材に設定されていた色や太さの情報がなくなり、レイヤー色・レイヤー太さで登録されます。登録後にレイヤー一覧やプロパティから色や太さを変更できます。チェックを外すと、登録時の色や太さのまま登録することができます。



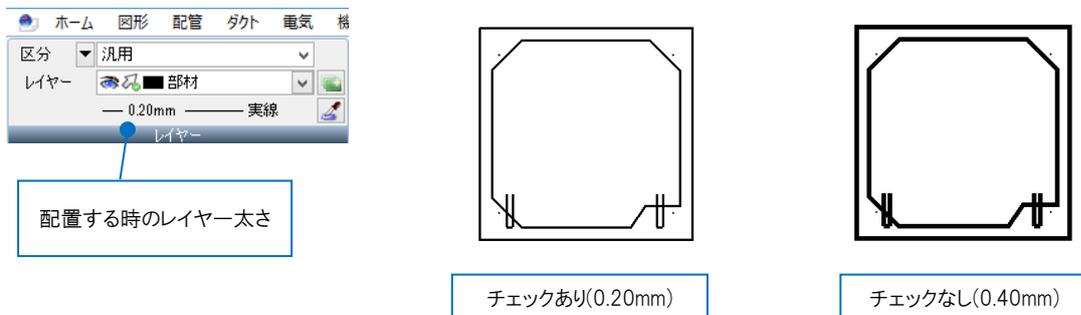
① プロパティで太さを変更した部材を配置します。



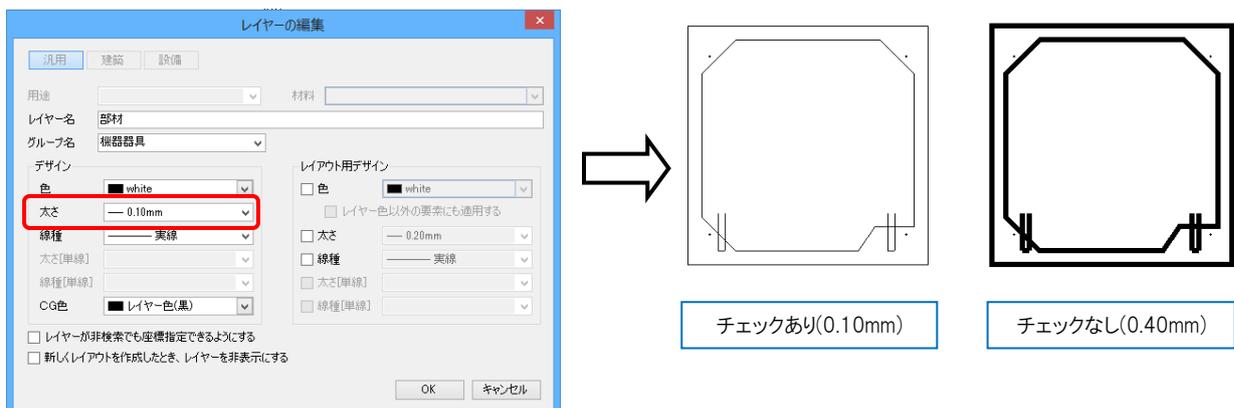
② 「太さ」のチェックを入れた状態と外した状態でそれぞれ登録します。



③ チェックを入れた部材はレイヤー太さで表示され、チェックを外した部材は元の部材の太さで表示されます。



④ 登録後にレイヤー一覧やプロパティから変更した場合も、チェックを外した部材は影響を受けません。

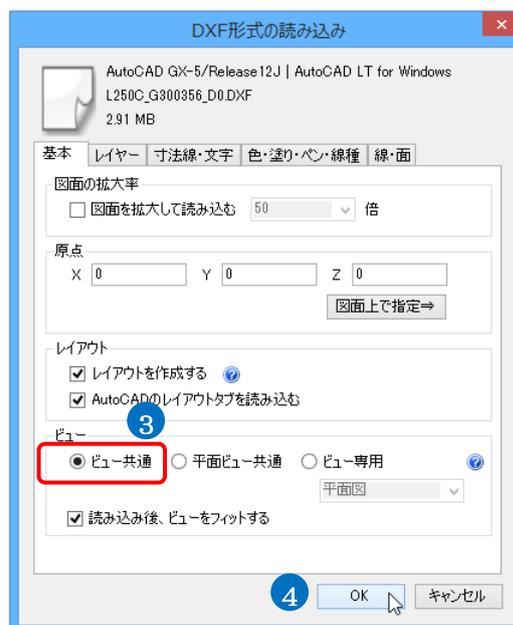
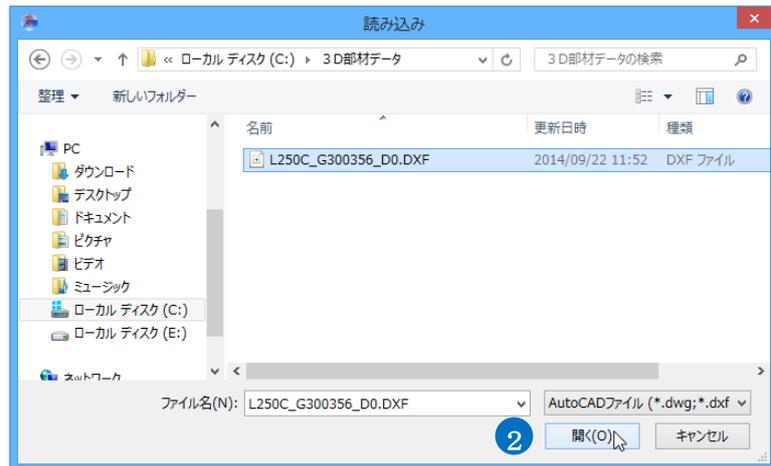
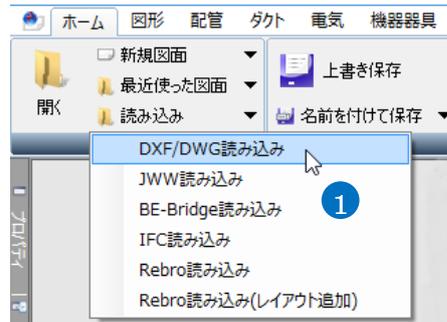


2. ユーザー部材の登録(3D)

3D データ(3DDXF や3DDWG など)や作成した3D 図形をユーザー部材として登録します。

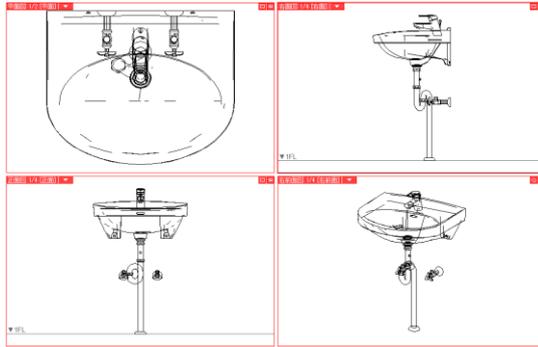
3DDXF の読み込み

- 1 [ホーム]タブ-[読み込み]をクリックし、[DXF/DWG 読み込み]を選択します。
- 2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックします。
- 3 [DXF 形式の読み込み]ダイアログから読み込みビュー「ビュー共通」を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。



→3DDXF データが各方向のビューに表示されます。

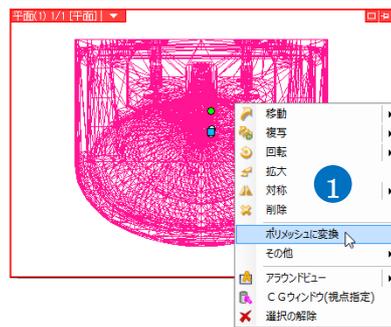
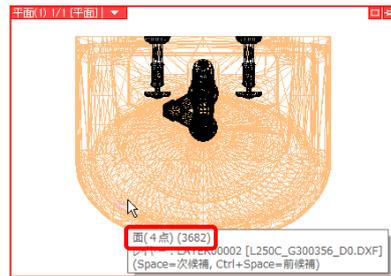
Memo
 ユーザー部材に配管やダクトの接続口を追加することができます。p.17「ユーザー部材の登録」の「4.ユーザー接続口」を参照してください。
 有意点を追加することもできます。p.22「ユーザー部材の登録」の「5.ユーザー有意点」を参照してください。



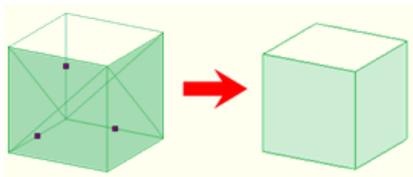
● 補足説明

読み込んだ3D データが「複合面」または「面」で構成されていると稜線が多く見づらい場合があります。ポリメッシュに変換すると稜線を調整できます。

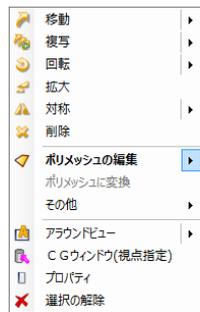
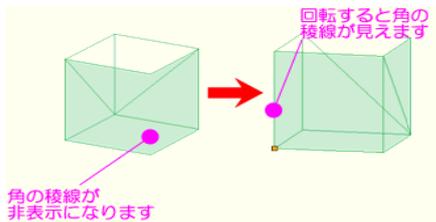
- 1 読み込んだ3D データを選択し、コンテキストメニューより [ポリメッシュに変換] をクリックします。
- 2 変換したポリメッシュを選択し、コンテキストメニューより [ポリメッシュの編集] をクリックします。
- 3 リボンの [角度] に指定角度を入力し、[稜線の表示形式の自動設定] をクリックします。



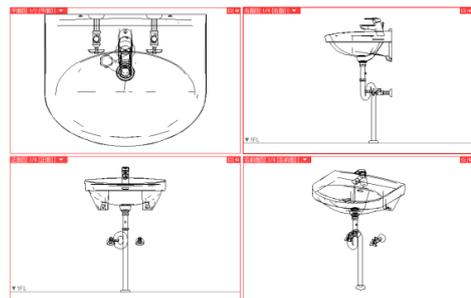
[稜線の表示形式の自動設定] を行うと、指定した角度以上の稜線は裏側で非表示になります。



指定した角度以下の場合角の稜線を非表示にし、回転して、片側の角のみになると稜線が表示されます。



- 4 コンテキストメニューから [確定] をクリックします。



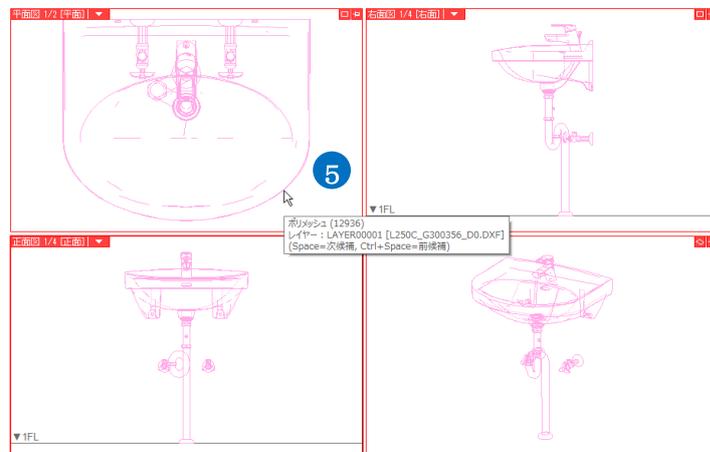
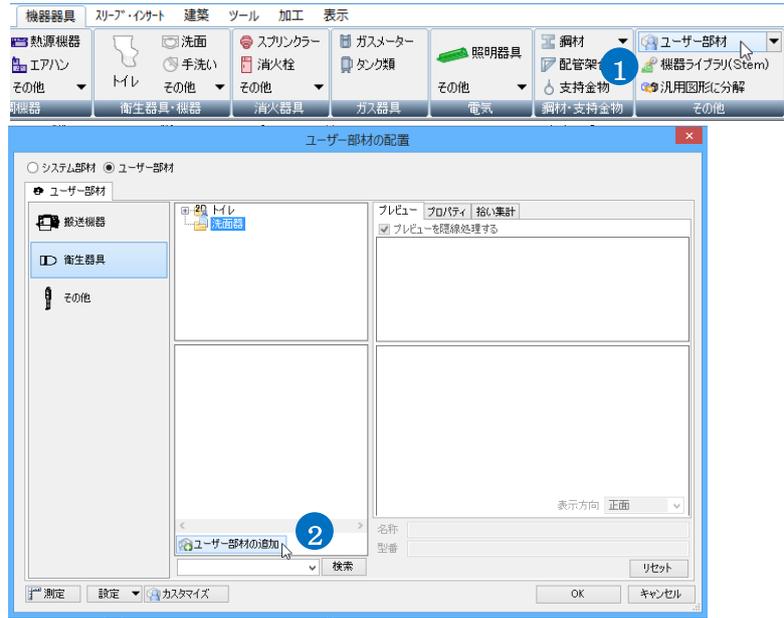
3D データを登録する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。

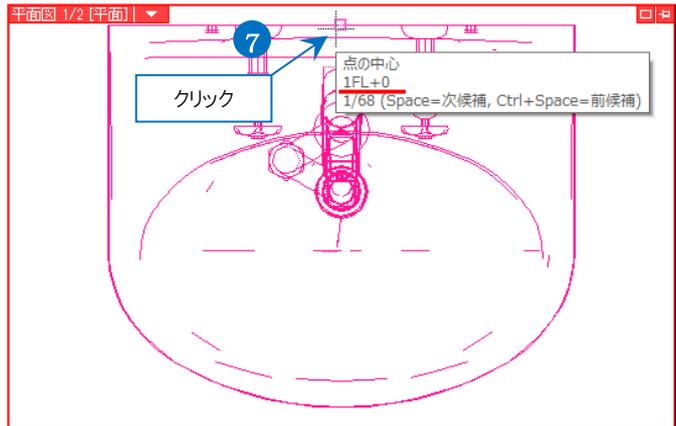
Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。

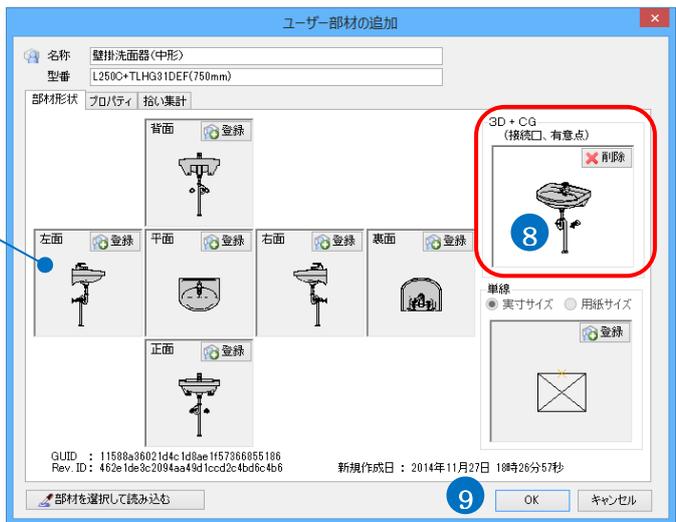
- 3 名称と型番を入力します。
- 4 「3D+CG」の「登録」をクリックします。
- 5 登録する3Dデータを選択します。
- 6 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



- 7 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。
- 8 「3D+CG」に登録されます。
- 9 [OK]をクリックします。
→部材が登録されます。



平面や断面方向を指定しない場合、3D 部材の平面、断面の部材形状が表示されます。



3. ユーザー部材の登録(2D+3D)

2D データと3D データを組み合わせたユーザー部材を作成します。

2D データと3D データを組み合わせると平面、正面、側面方向は2D データを表示し、右前面ビューなどの3D ビュー、CG では3D データを表示できます。

2D データと3D データを登録する

- 1 2D データと3D データを配置します。

Memo

2D データの読み込みはp.4、3D データの読み込みはp.10 を参照してください。

- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。

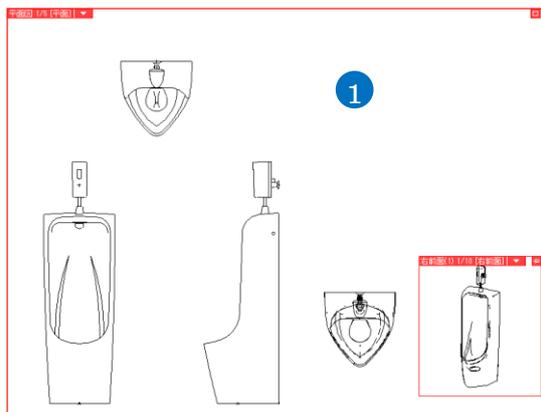
- 3 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。

Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。

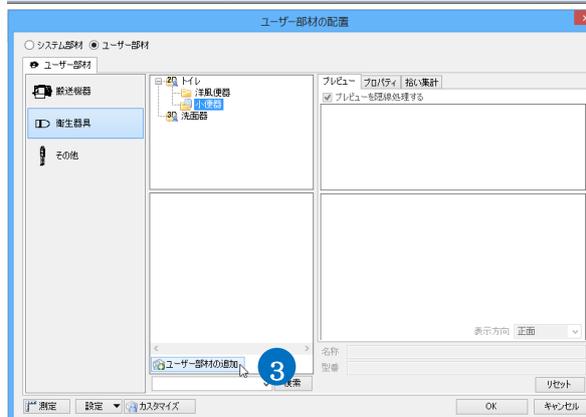
- 4 名称と型番を入力します。

- 5 2D データを登録します。「平面」の「登録」をクリックします。

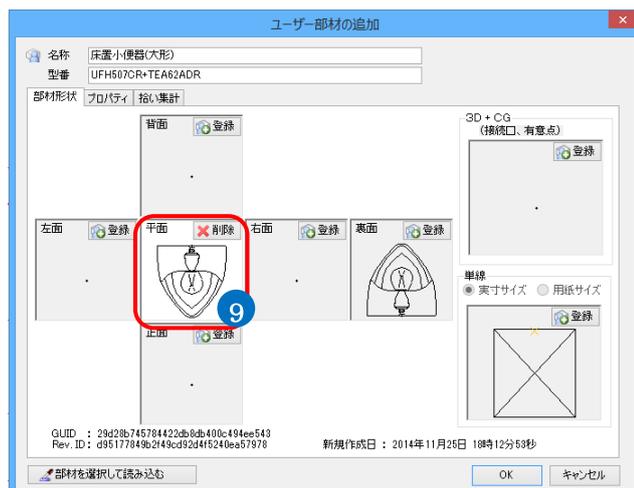
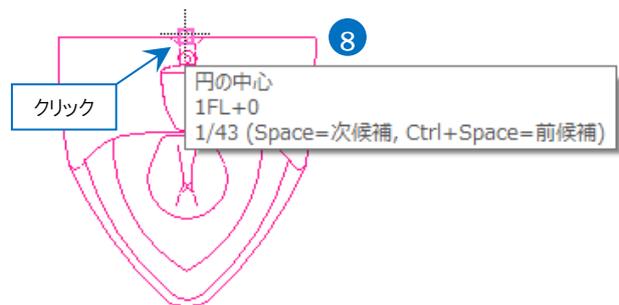
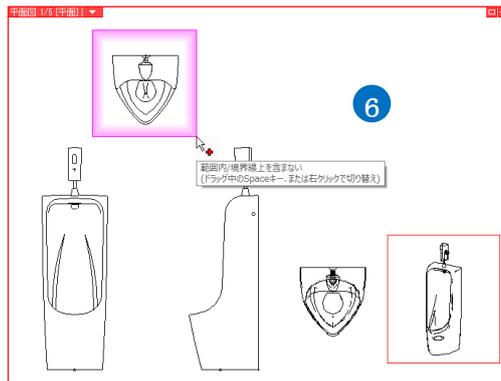


2D データ

3D データ



- 6 登録する部材データを選択します。
- 7 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 8 部材の基準位置を指定します。
- 9 「平面」に登録されます。
- 10 同様に正面方向と右面方向も登録します。



11 3D データを登録します。「3D+CG」の「登録」をクリックします。

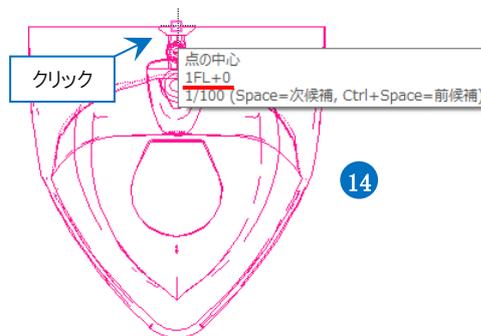
12 登録する3D データを選択します。

13 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

14 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。

15 「3D+CG」に登録されます。

16 [OK]をクリックします。
→部材が登録されます。



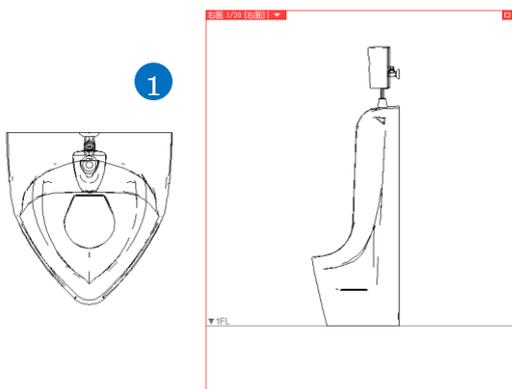
4. ユーザー接続口

ユーザー接続口の作成

ユーザー接続口を設定すると、システム部材(レブプロに標準登録されている部材)と同様にユーザー部材から配管やダクトを引き出すことができます。

例) 小便器に給水と汚水の接続口を設定します。

- 1 接続口を設定する部材データを配置します。
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材-ユーザー接続口]をクリックします。
- 3 「配管用」を選択します。
- 4 用途「給水」、サイズ種類「鋼管系」を指定します。

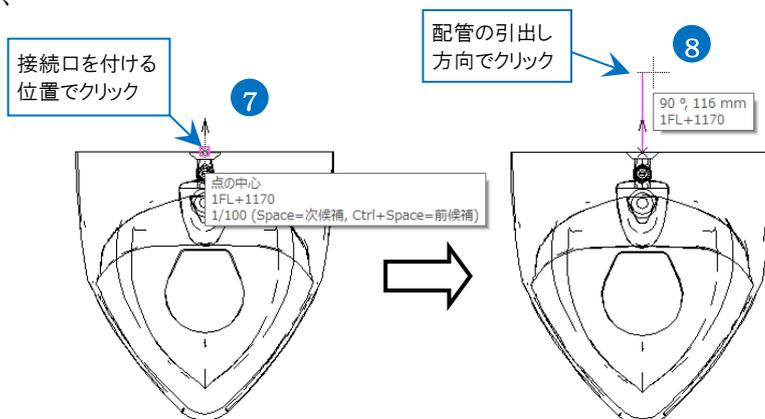


- 5 サイズ「15」を指定します。
- 6 高さにチェックを入れ、「1170(1FL)」を入力します。
- 7 接続口を付ける位置でクリックします。

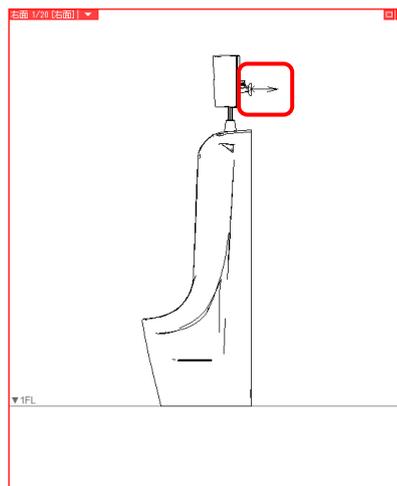
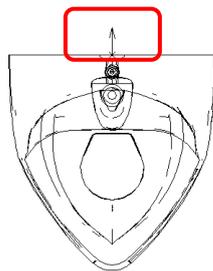


サイズ種類によって設定できるサイズが変わります。

- 8 配管の引出し方向にカーソルを移動し、クリックします。



→給水の接続口が設定されます。



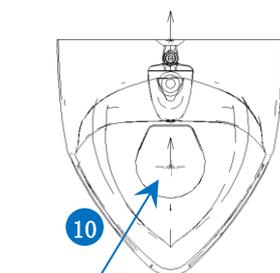
- 9 複数の接続口を付ける場合は続けて他の箇所にも接続口を設定します。

ここでは以下の設定を行います。
「配管用」、用途「汚水」、サイズ種類「鋼管系」、サイズ「50」、高さにチェックを入れ、「0(1FL)」を入力します。

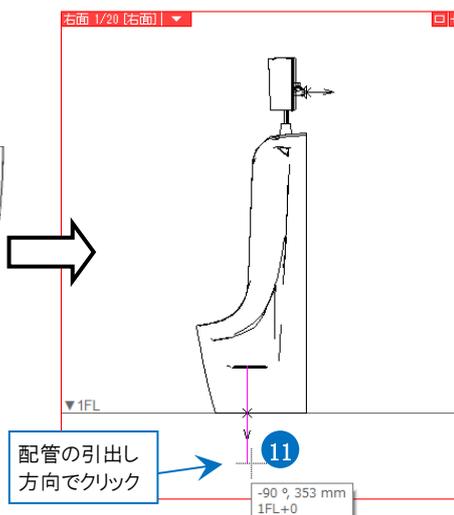


- 10 接続口を付ける位置でクリックします。

- 11 配管の引出し方向が上下の場合は断面から引出し方向にカーソルを移動し、クリックします。
→汚水の接続口が設定されます。

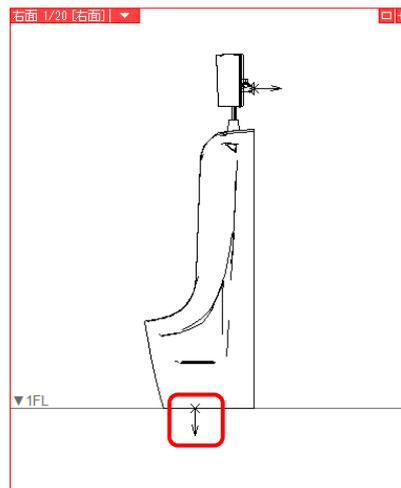
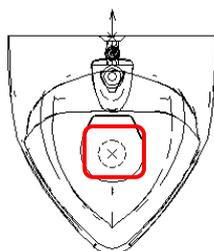


接続口を付ける位置でクリック



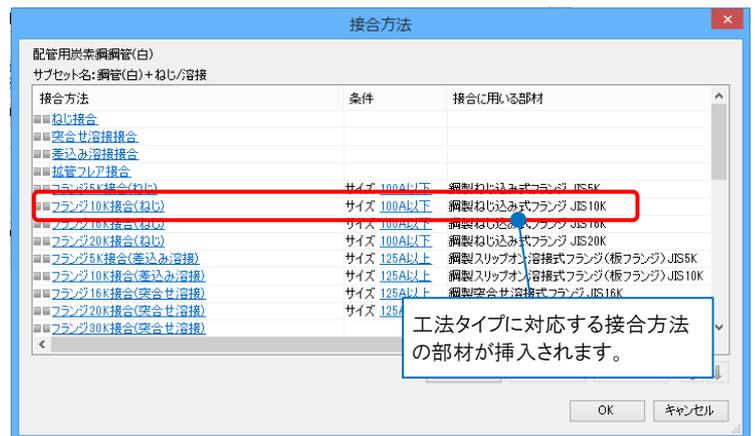
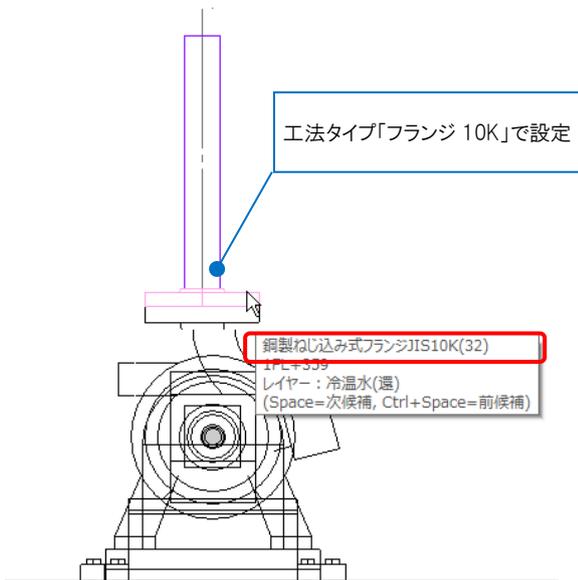
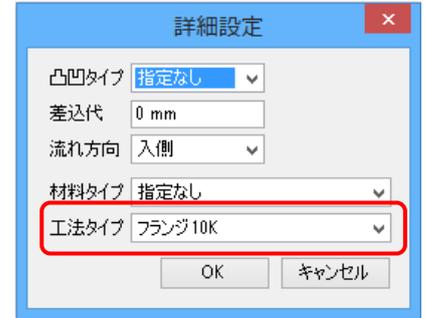
配管の引出し方向でクリック

- 12 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



● 補足説明

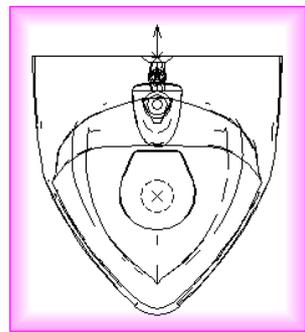
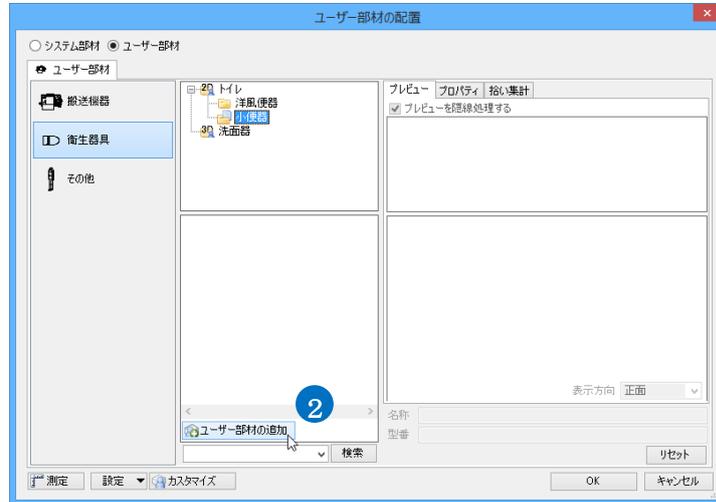
ユーザー接続口の[詳細]で工法タイプをフランジ付きやねじ込みに設定すると、[材料の設定]-[接合方法]で設定した部材を自動で挿入できます。



ユーザー接続口の登録

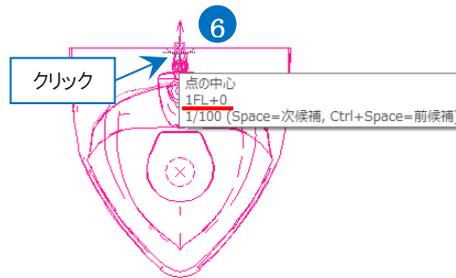
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
 - 2 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。
- Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。
- 3 ユーザー接続口は「3D+CG」から登録します。「3D+CG」の「登録」をクリックします。
 - 4 ユーザー接続口と部材データを選択します。
 - 5 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



範囲内/境界線上を含まない
(ドラッグ中のSpaceキー、または右クリックで切り替え)

- 6 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。



- 7 「3D+CG」に登録されます。ユーザー接続口も登録されます。

- 8 [OK]をクリックします。→部材が登録されます。

Memo
接続口のサイズは登録後に[ユーザー部材の配置]-[プロパティ]から変更できます。

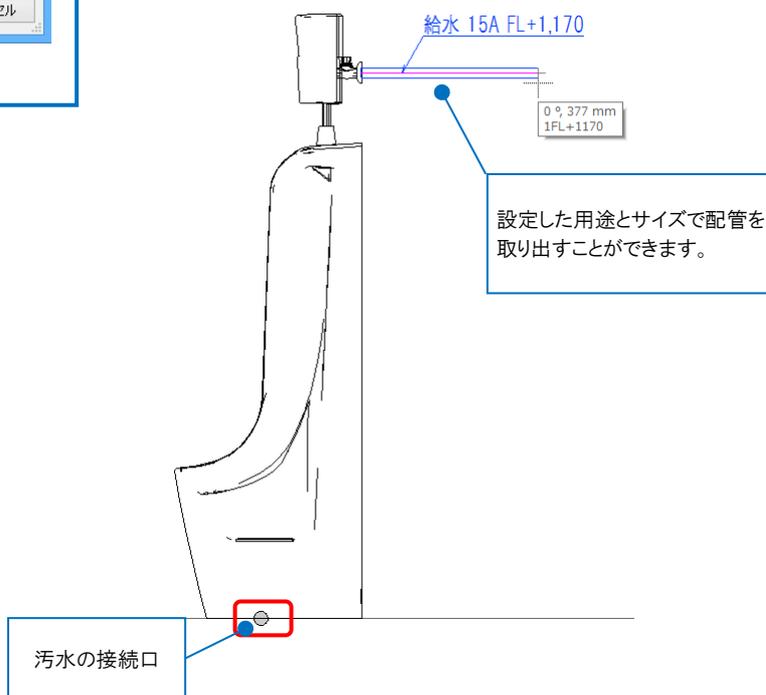
| 項目 | 値 |
|-------|---|
| メーカー名 | |
| 備考 | |

| 接続口 | サイズ |
|------|-----|
| ① 給水 | 15 |
| ② 汚水 | 50 |

名称 床置小便器(大形)
型番 UFH507CR+TEA62ADR



ユーザー接続口を登録すると接続口の番号が表示されます。



5. ユーザー有意味点

ユーザー有意味点の作成

ユーザー有意味点を含めてユーザー部材登録すると、部材の有意味点として座標指定をすることができます。

例) パッケージエアコンの吊りボルトの位置に有意味点を作成します。

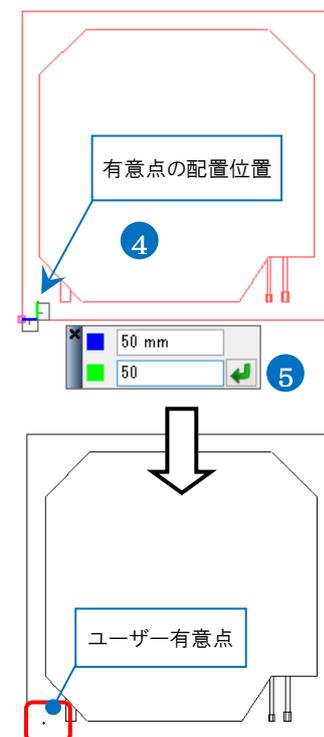
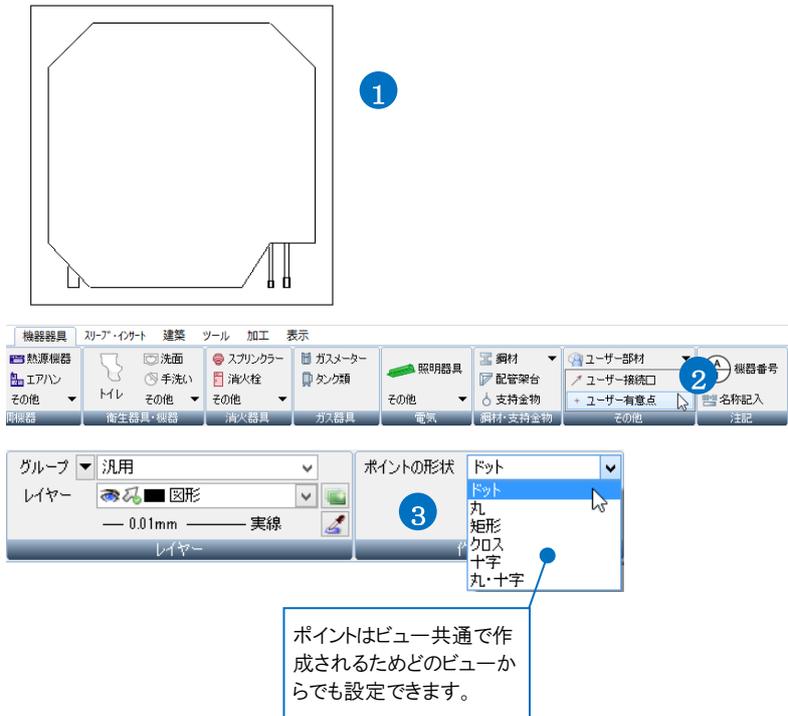
- 1 有意味点を設定する部材データを配置します。

- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材-ユーザー有意味点]をクリックします。

- 3 ポイントの形状をリストから選択します。「ドット」を指定します。

- 4 有意味点を作成する位置を指定します。ここではメジャーで距離を入力して配置します。

- 5  アイコン、または Enter キーで確定します。
→ユーザー有意味点を作成されます。



ユーザー有意点の登録

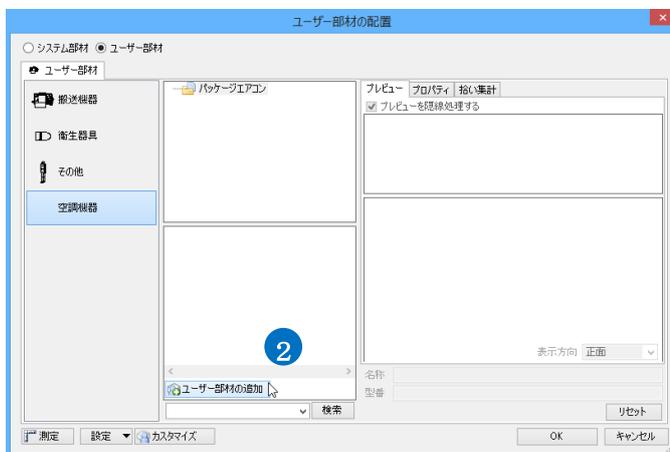
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。



- 2 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。

Memo

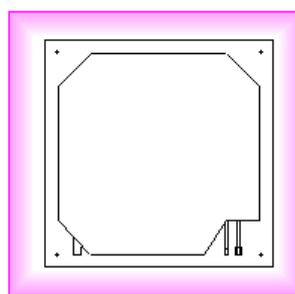
タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。



- 3 ユーザー有意点は「3D+CG」から登録します。「3D+CG」の「登録」をクリックします。

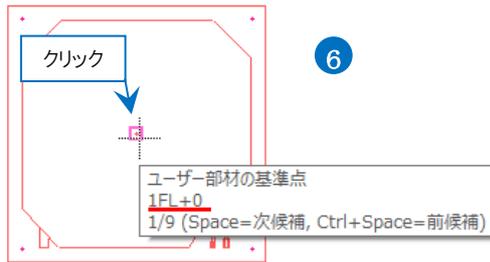
- 4 ユーザー有意点と部材データをまとめて選択します。

- 5 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



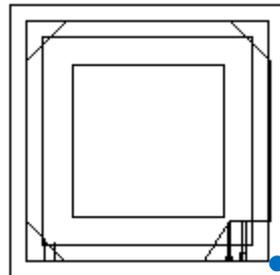
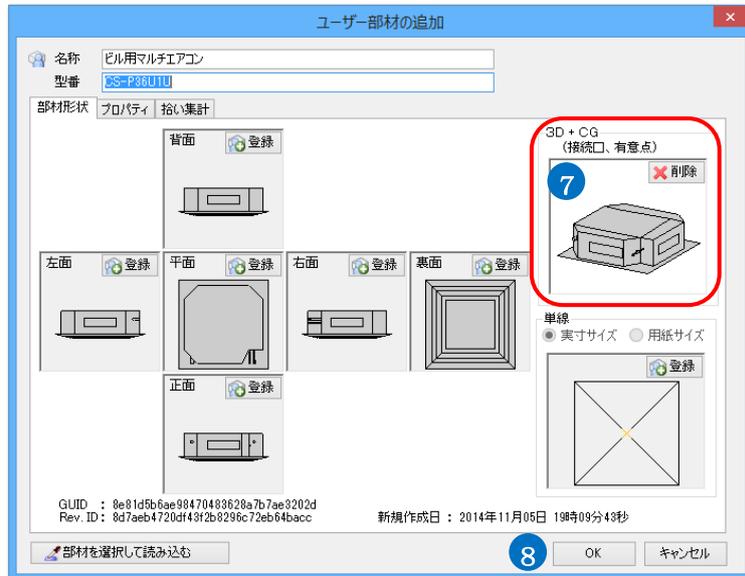
範囲内/境界線上を含まない
(ドラッグ中のSpaceキー、または右クリックで切り替え)

6 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さを切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。



7 「3D+CG」に登録されます。ユーザー有意点も登録されます。

8 [OK]をクリックします。→部材が登録されます。

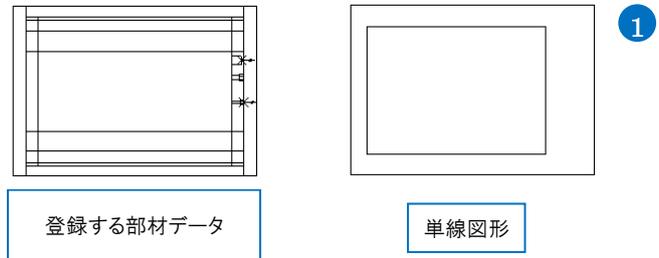


ユーザー有意点は登録すると非表示になります

6. 単線の登録

単線に切り替えた時の記号を登録します。

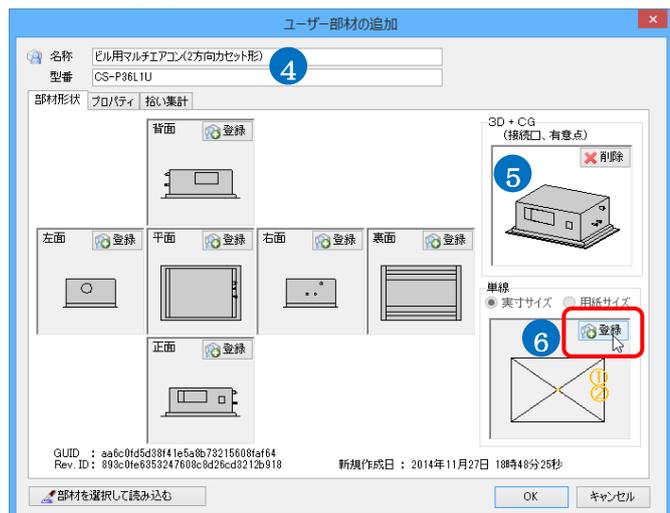
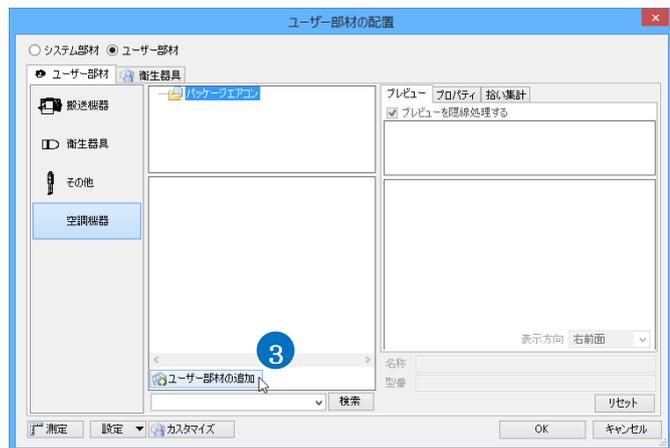
- 1 登録する部材データと単線図形を配置します。
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 3 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。



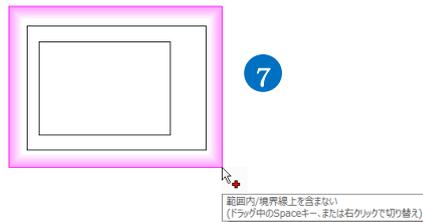
Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。

- 4 名称と型番を入力します。
- 5 部材データを登録します。
- 6 「単線」に単線図形を登録します。「単線」の「登録」をクリックします。

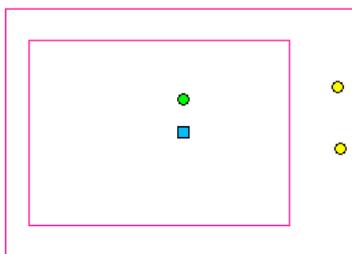
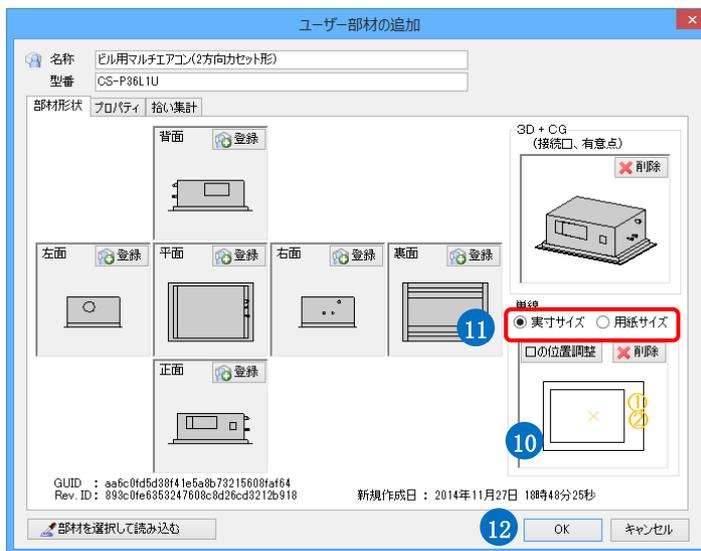


- 7 単線図形を選択します。
- 8 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 9 部材の基準位置を指定します。
- 10 「単線」に登録されます。
- 11 単線図形の登録する基準縮尺に「実寸サイズ」を指定します。



Memo
「実寸サイズ」を指定すると、縮尺に合わせて単線図形の大きさが変わります。
「用紙サイズ」を指定すると、どの縮尺でも同じサイズで表示されます。

- 12 [OK]をクリックします。
→部材が登録されます。



● 補足説明

ユーザー接続口を登録すると、単線に切り替えたときも接続口が表示されます。
接続口の位置が複線部材と異なる場合は、[口の位置調整]で単線図形の基準位置から接続口の距離を設定します。

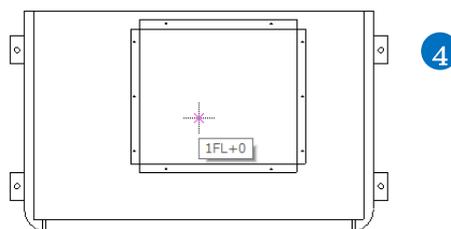
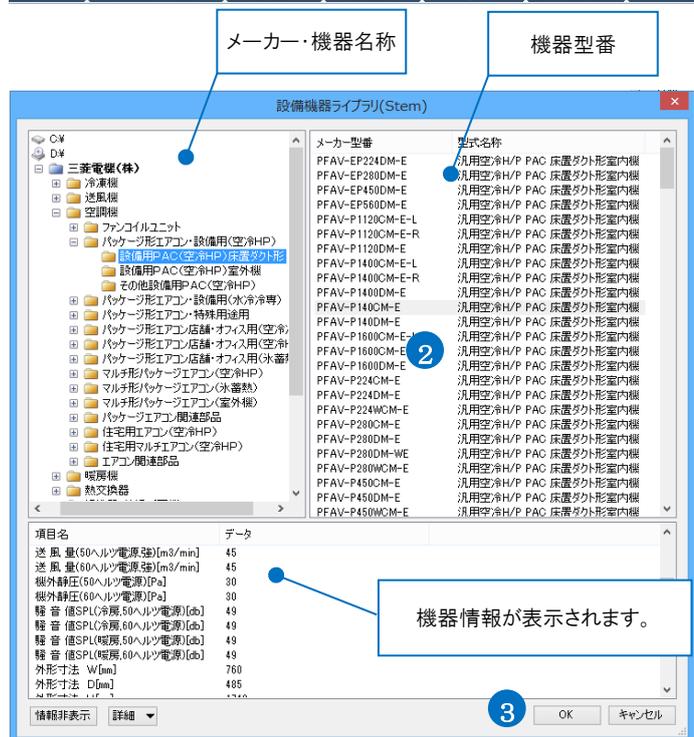


7. Stem の利用

設備機器ライブラリ(Stem)は各機器メーカーから提供された接続口と機器情報が登録されている2D 部材です。Stem データと3D データを組み合わせてユーザー部材を登録できます。Stem データはメーカーが提供する CD や機器ライブラリ”Stem”データ配信サービス(<http://stem.yoi-kensetsu.com/index.asp>)で入手できます。

Stem の読み込み

- 1 [機器器具]タブ-[機器ライブラリ(Stem)]をクリックします。
→Stem データが表示されます。
- 2 読み込む部材を選択します。
- 3 [OK]をクリックします。
- 4 配置方法や高さを入力し図面上でクリックして配置します。



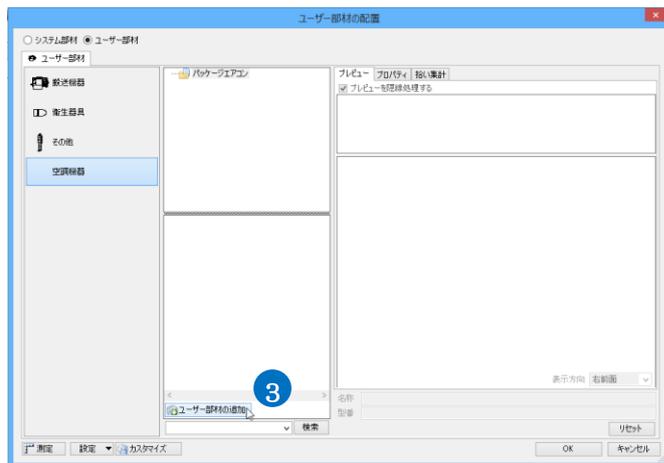
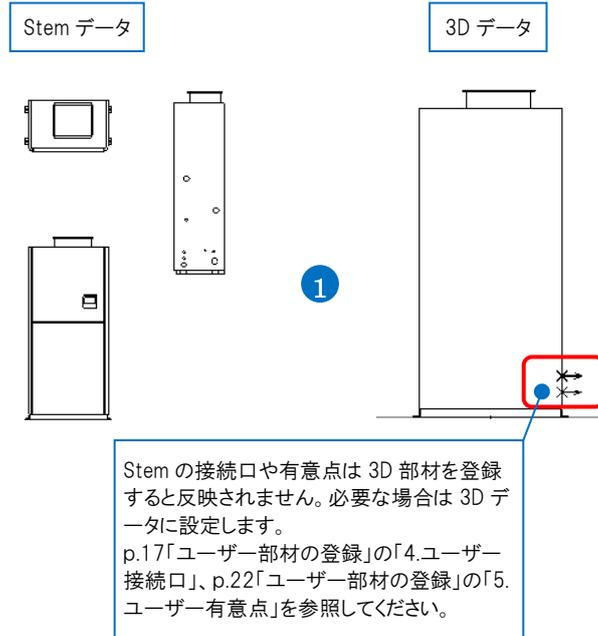
3D データと組み合わせる

- 1 Stem データと3D データを配置します。
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 3 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。

Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。

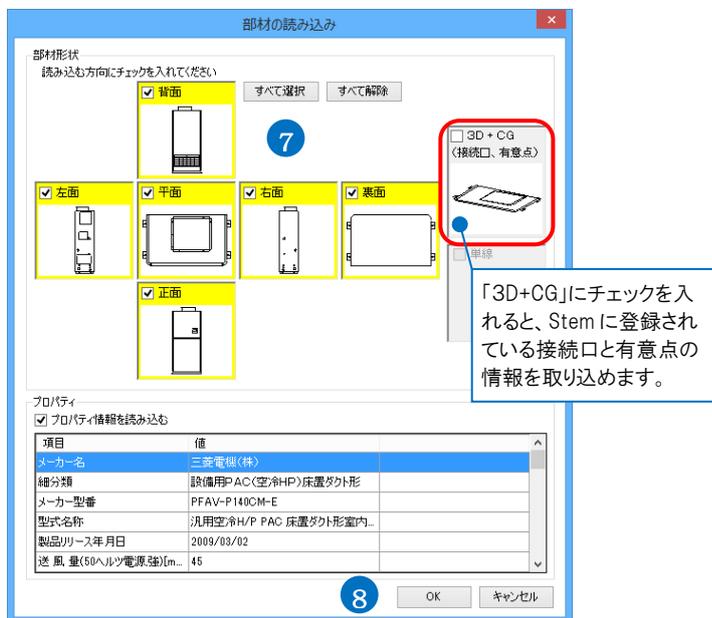
- 4 名称と型番を入力します。
- 5 [部材を選択して読み込む]をクリックします。



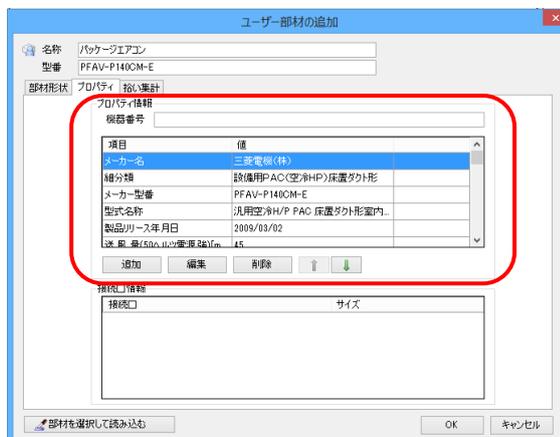
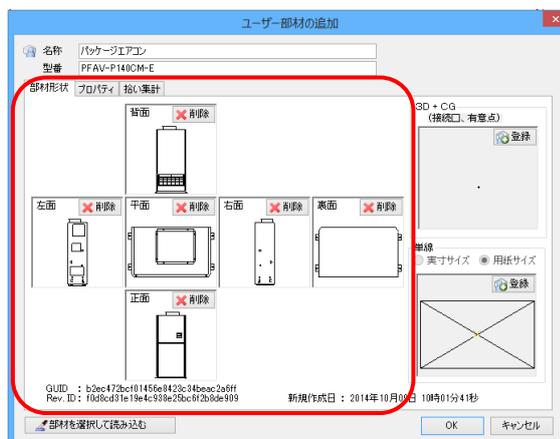
- 6 配置した Stem データをクリックします。
→部材形状や情報を取得します。



- 7 [部材の読み込み]ダイアログで部材の形状とプロパティ情報の読み込みの指定をします。
3D データを登録するため「3D+CG」のチェックを外します。



- 8 [OK]をクリックします。
→部材の形状とプロパティ情報が取り込まれます。



9 3D データを登録します。「3D+CG」の「登録」をクリックします。

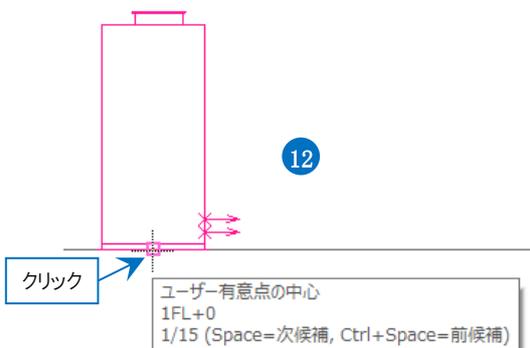
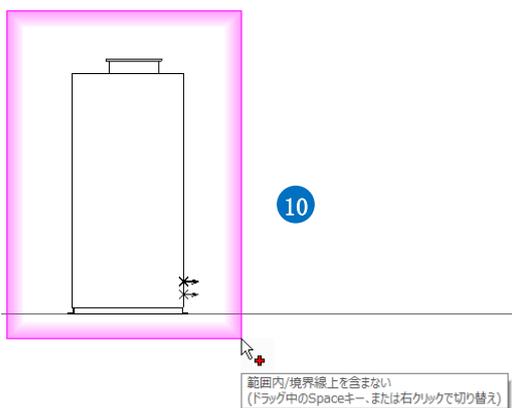
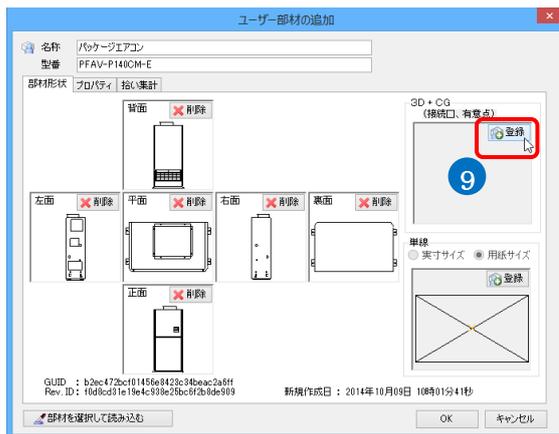
10 3D データを選択します。

11 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

12 部材の基準位置を指定します。

13 「3D+CG」に登録されます。ユーザー接続口とユーザー有意点も登録されます。

14 [OK]をクリックします。
→部材が登録されます。



8. システム部材の編集

システム部材(レプロに標準登録されている部材)の部材形状を編集して、新しい部材を作成します。

システム部材を分解する

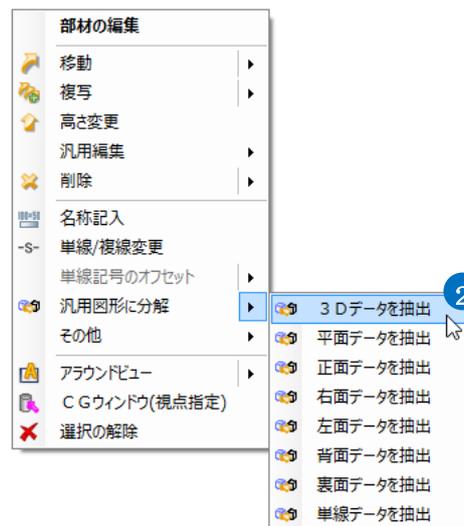
- 1 編集するシステム部材を配置し、選択します。
- 2 コンテキストメニューより[汎用図形に分解-3D データを抽出]をクリックします。

Memo
[汎用図形に分解]
ビューの表示方向に合わせてビュー専用の汎用図形を抽出します。3D 部材はビュー共通の汎用図形で抽出します。

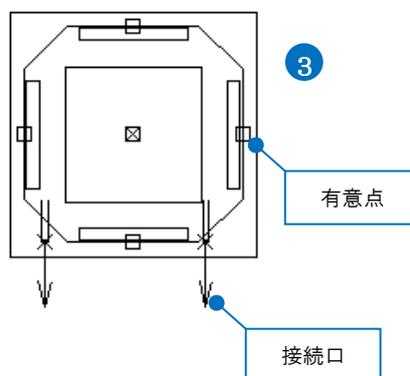
[3D データを抽出]
「3D+CG」に登録されている図形をビュー共通として抽出します。有意点や接続口も抽出されます。

[平面～裏面データを抽出]
指定した方向に合わせたビュー専用の汎用図形を抽出します。

[単線データを抽出]
単線で登録されている図形をビュー専用で抽出します。

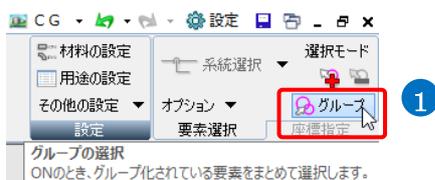


- 3 3D 図形と有意点、接続口が表示されます。

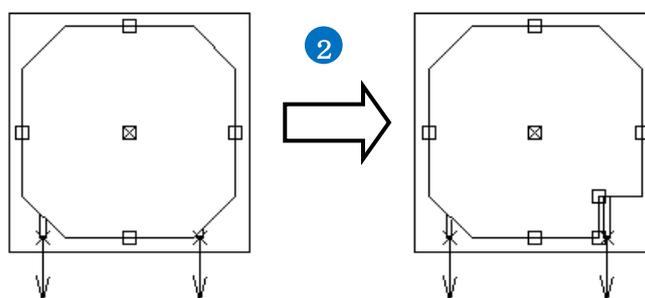
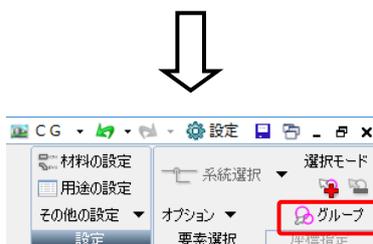


システム部材を編集する

- 1 分解した部材はグループ化されています。部材を編集するには[グループ]のアイコンをオフにします。

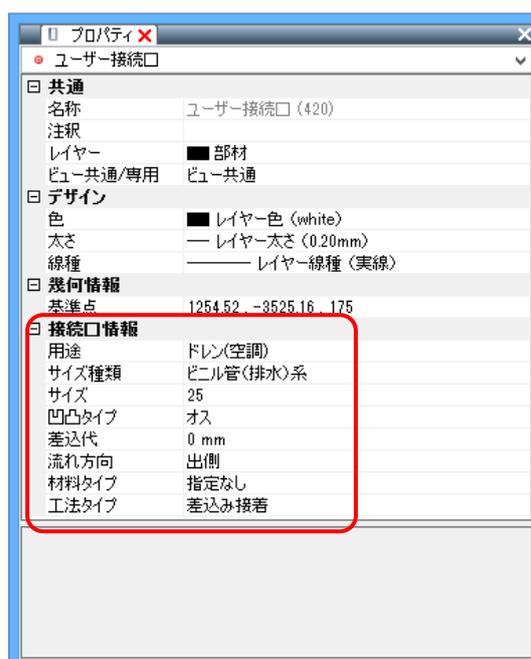


- 2 部材を編集します。
[図形]タブ-[3D 図形]を使用し、別の形を作成します。



● 補足説明

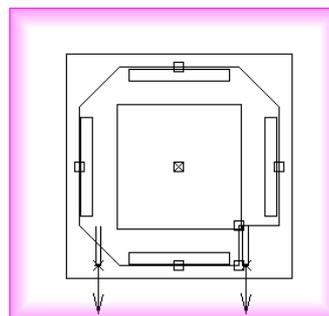
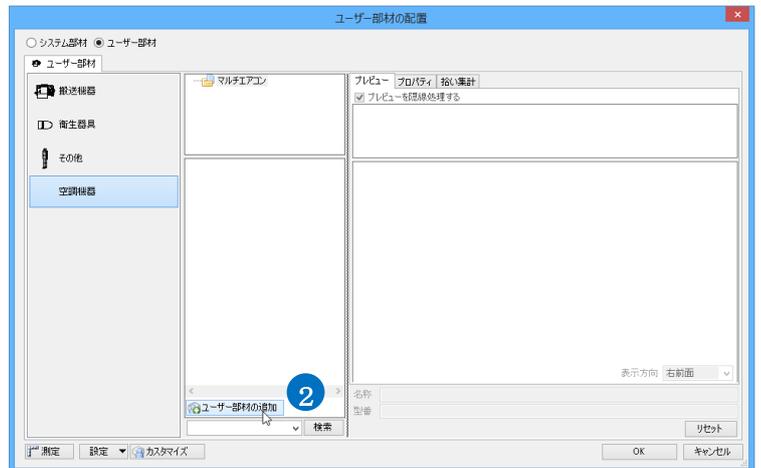
接続口の内容はユーザー接続口要素のプロパティで変更できます。



編集したシステム部材を登録する

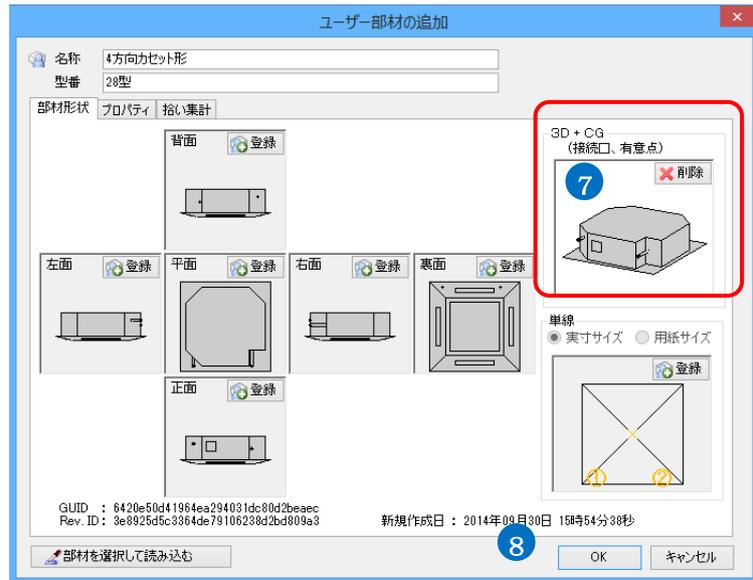
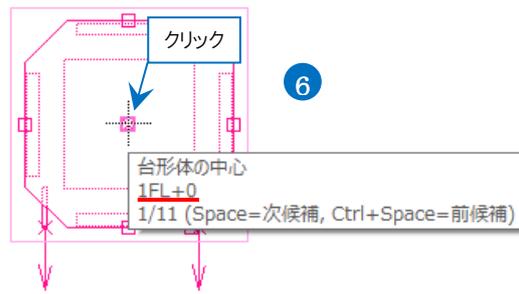
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
 - 2 部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。
- Memo

タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.41「ユーザー部材の編集」の「4. ダイアログのカスタマイズ」を参照してください。
- 3 ユーザー接続口は「3D+CG」から登録します。
「3D+CG」の「登録」をクリックします。
 - 4 3Dデータと接続口、有意点を選択します。
 - 5 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



範囲内/境界線上を含まない
(ドラッグ中のSpaceキー、または右クリックで切り替え)

- 6 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さを切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。
- 7 「3D+CG」に登録されます。接続口と有意点も登録されます。
- 8 [OK]をクリックします。→部材が登録されます。

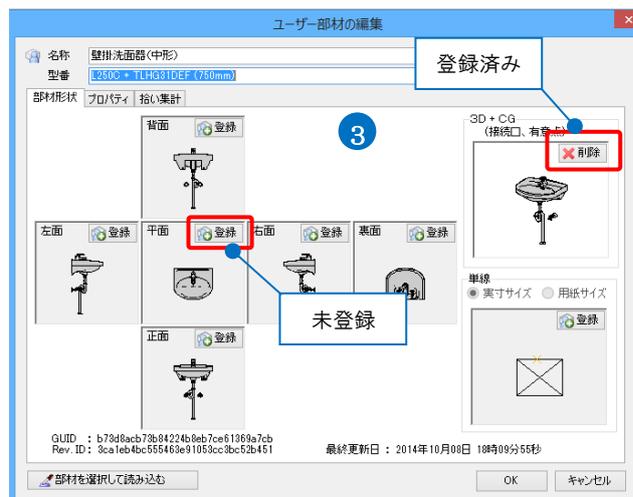
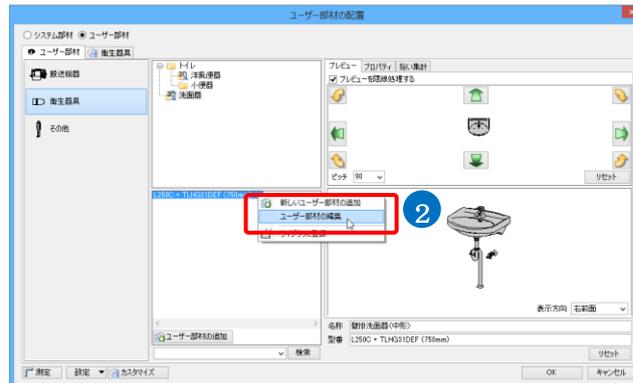


ユーザー部材の編集

1. 登録内容の編集

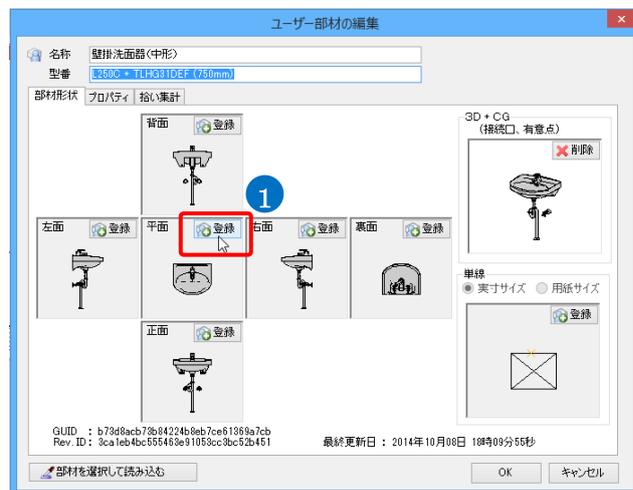
登録したユーザー部材の部材形状やプロパティ情報を追加・変更します。
例)3D 部材に2D 図形を追加します。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 編集する部材を選択し、コンテキストメニューから[ユーザー部材の編集]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の編集]ダイアログが表示されます。
部材形状が登録されている時は「削除」アイコン、未登録の時は「登録」アイコンが表示されます。

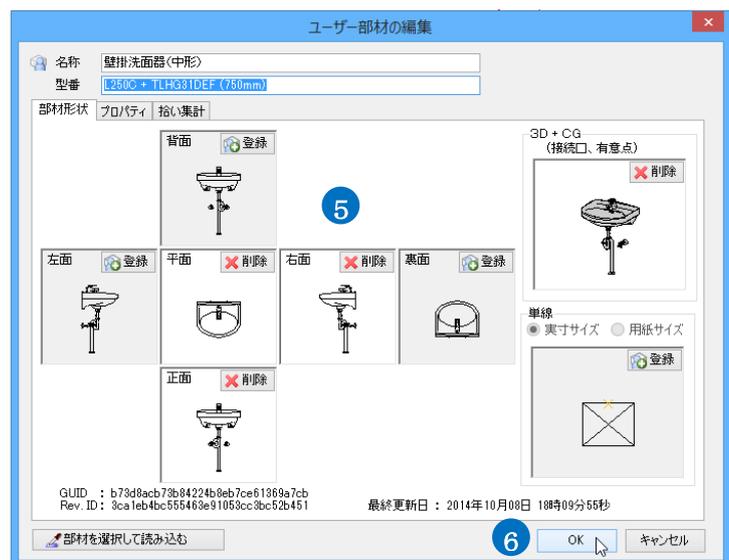
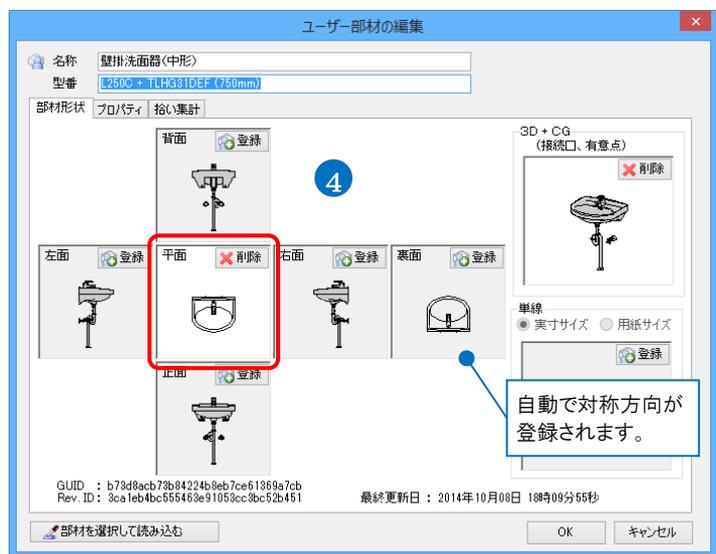
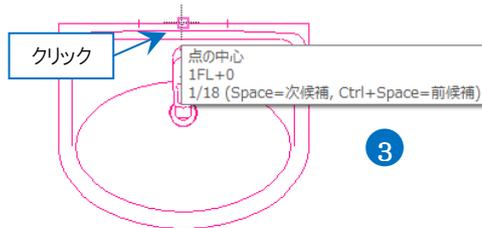
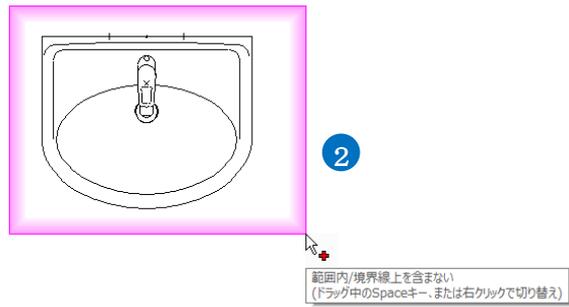


部材形状を追加登録する

- 1 登録する方向の「登録」をクリックします。

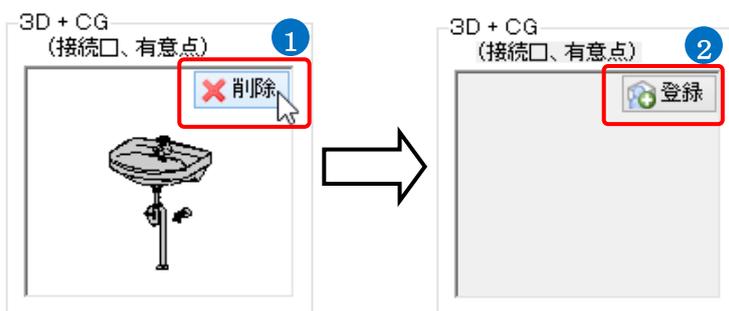


- 2 登録する2D 図形を選択し、コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 3 部材の基準位置を指定します。
- 4 指定方向の部材形状が登録されます。
- 5 同様に他の方向も登録します。
- 6 [OK]をクリックします。
→登録したユーザー部材が更新されます。



登録済みの部材形状を変更する

- 1 登録された部材形状を変更するには「削除」をクリックします。
→登録された形状が削除され、「登録」アイコンに切り替わります。
- 2 「登録」をクリックして、新しい部材形状を登録します。

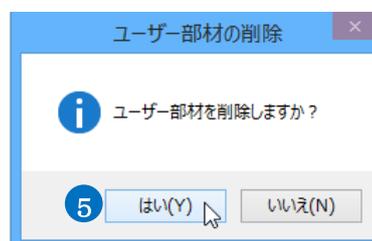
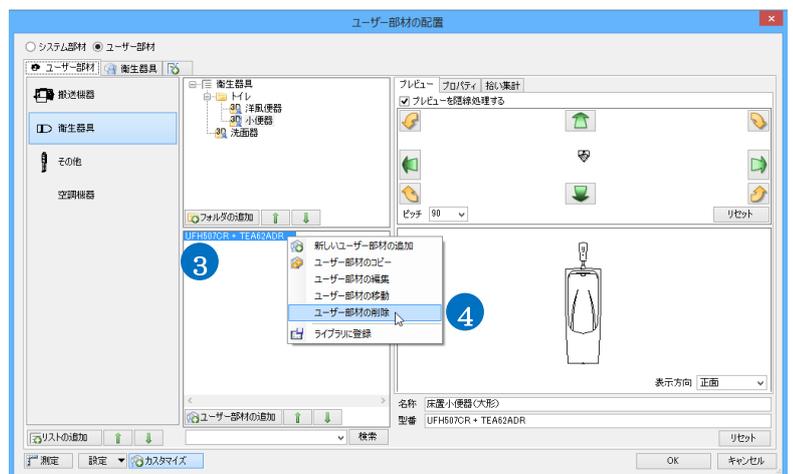
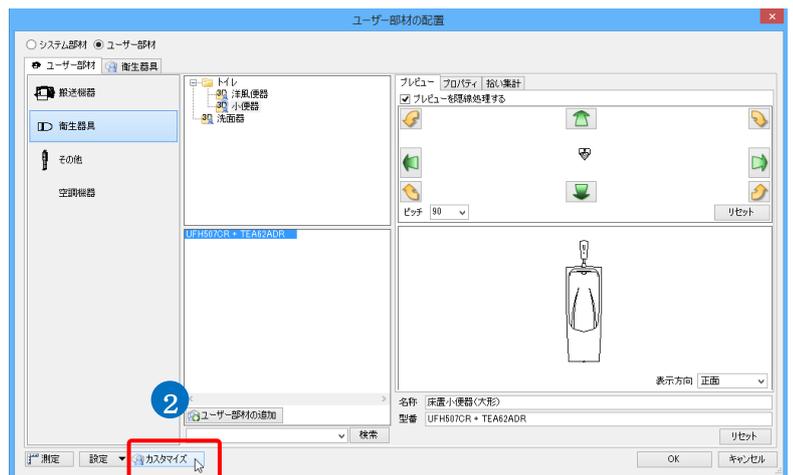


2. ユーザー部材の削除

登録したユーザー部材を削除します。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [カスタマイズ]をクリックします。
→[ユーザー部材の配置]ダイアログが編集モードになります。
- 3 削除するユーザー部材を選択します。
- 4 コンテキストメニューより[ユーザー部材の削除]を選択します。
- 5 [ユーザー部材の削除]ダイアログで[はい]をクリックします。
→部材が削除されます。

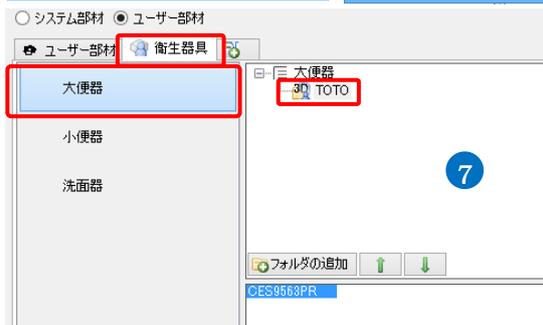
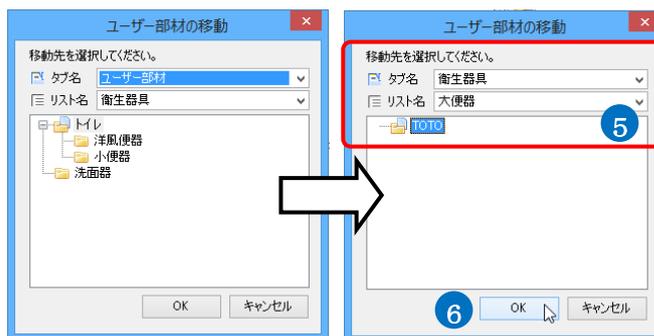
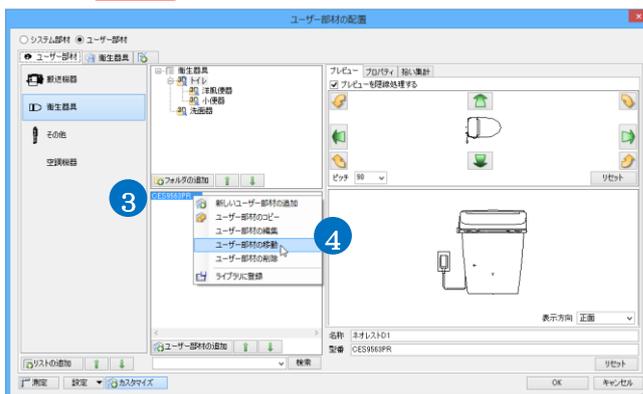
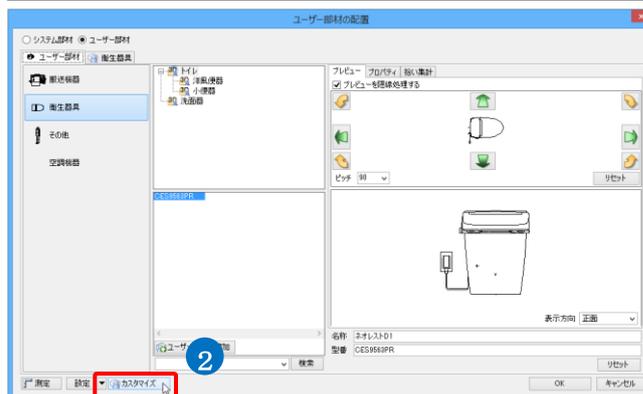
※[ユーザー部材の削除]を行うと復元できません。



3. 登録位置の移動

ユーザー部材の登録位置を変更します。

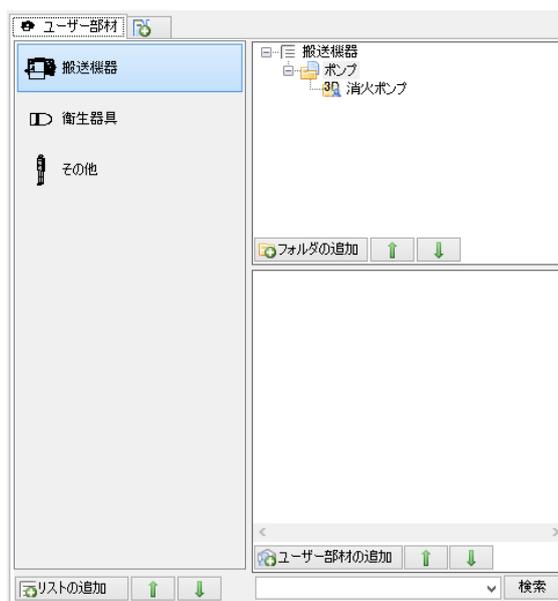
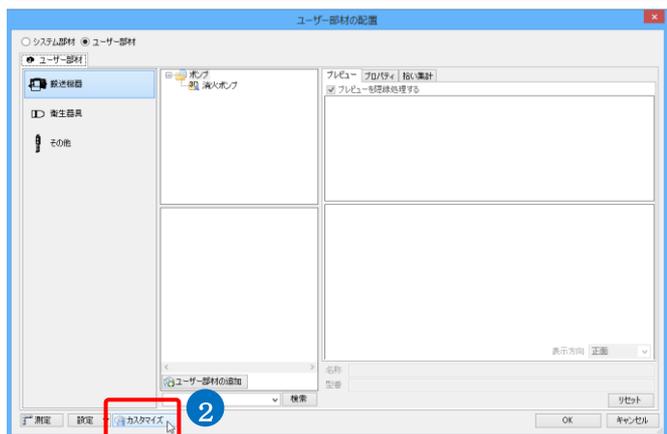
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [カスタマイズ]をクリックします。
→[ユーザー部材の配置]ダイアログが編集モードになります。
- 3 移動するユーザー部材を選択します。
- 4 コンテキストメニューより[ユーザー部材の移動]をクリックします。
- 5 [ユーザー部材の移動]ダイアログで、変更先のタブ、リスト、フォルダを指定します。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 部材の登録位置が変更されます。



4. ダイアログのカスタマイズ

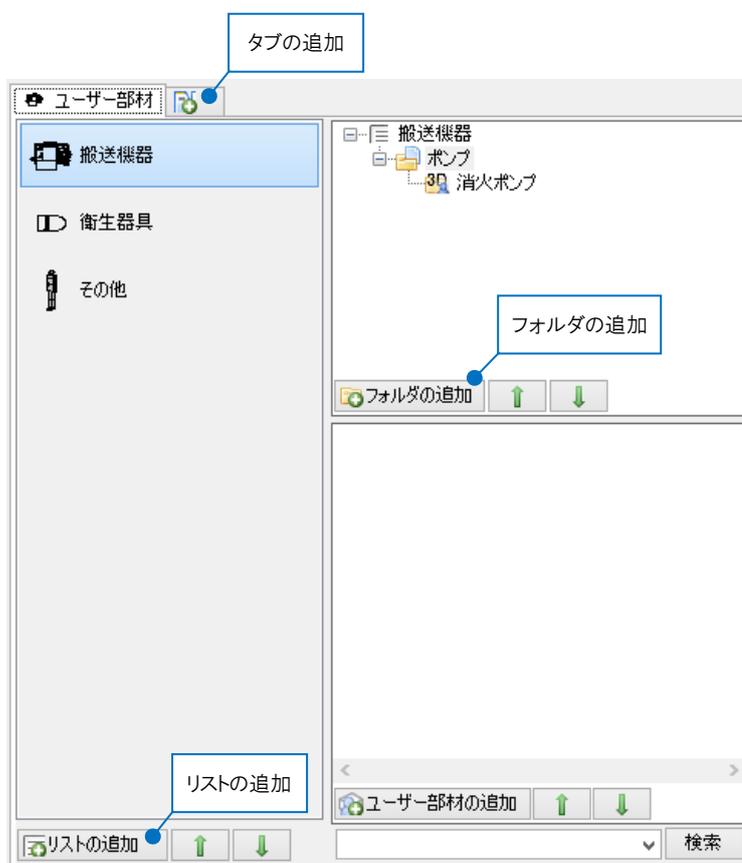
ユーザー部材のタブ、リスト、フォルダを編集します。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [カスタマイズ]をクリックします。
→[ユーザー部材の配置]ダイアログが編集モードになります。



タブ、リスト、フォルダの追加

[タブの追加]、[リストの追加]、[フォルダの追加]、またはコンテキストメニューから追加することができます。指定したリストとフォルダの下層に追加されます。



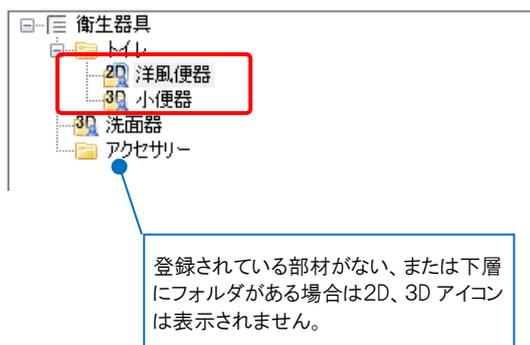
Memo
タブ、リスト、フォルダは左ドラックまたは [↑ ↓] で並び順を変更できます。

● 補足説明

フォルダの2D、3Dのアイコンはフォルダ内に登録されている部材によって替わります。

2D アイコン…2D 部材のみ登録されている時。

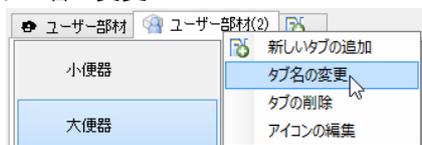
3D アイコン…3D 部材が登録されている時や2D 部材と3D 部材が混在している時。



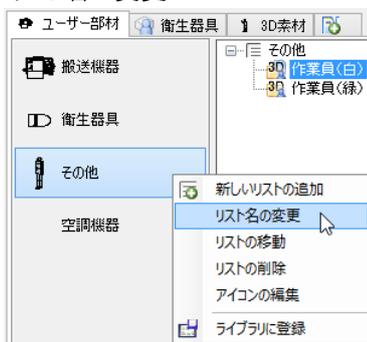
タブ、リスト、フォルダの名称変更

コンテキストメニューから[タブ名の変更]、[リスト名の変更]、[フォルダ名の変更]で名称変更ができます。

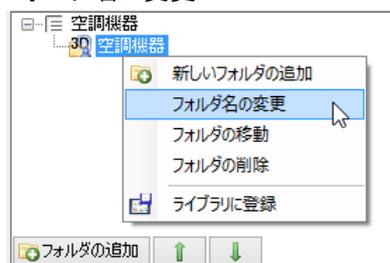
タブ名の変更



リスト名の変更



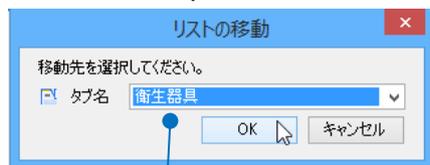
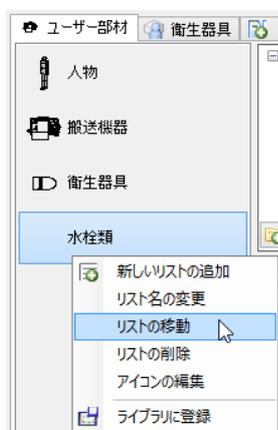
フォルダ名の変更



リスト、フォルダの移動

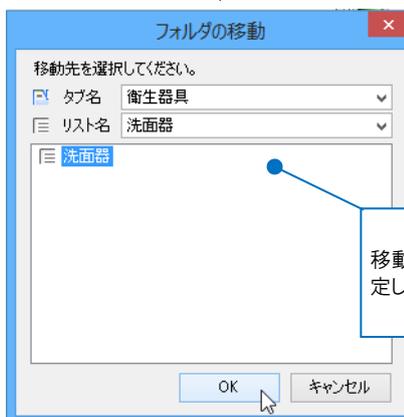
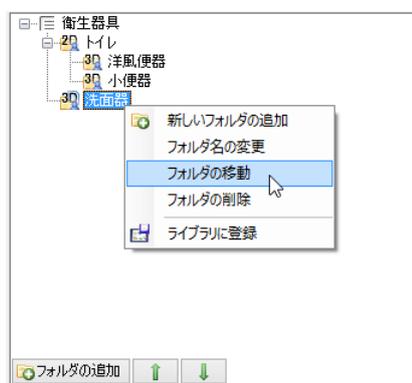
コンテキストメニューから[リストの移動]、[フォルダの移動]で表示位置を変更できます。

リストの移動



移動先のタブを指定します。

フォルダの移動



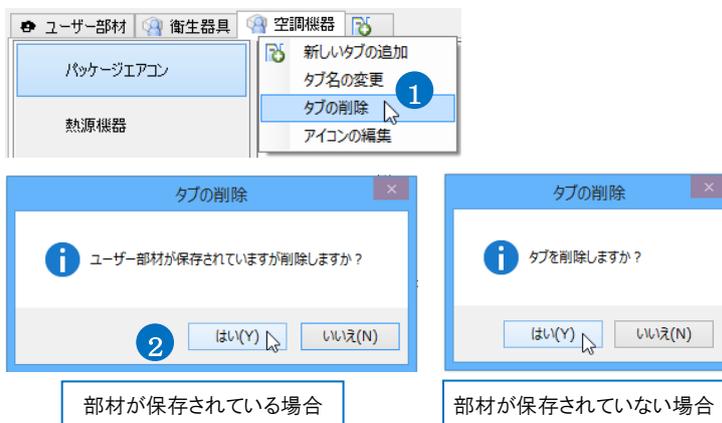
移動先のタブ、リスト、フォルダを指定します。

タブ、リスト、フォルダの削除

※これらの削除を行うと復元できません。

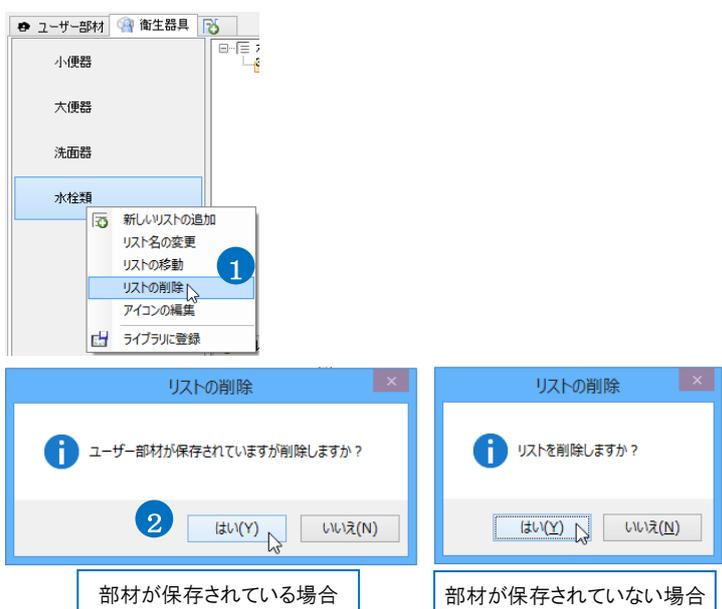
タブの削除

- 1 削除するタブを右クリックし、[タブの削除]をクリックします。
- 2 [タブの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。
→タブが削除されます。タブ内のリスト、フォルダ、登録部材も削除されます。



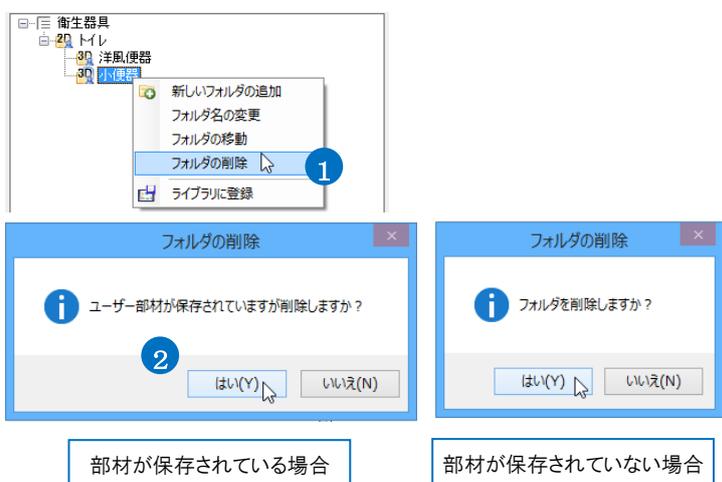
リストの削除

- 1 削除するリストを右クリックし、[リストの削除]をクリックします。
- 2 [リストの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。
→リストが削除されます。リスト内のフォルダ、登録部材も削除されます。



フォルダの削除

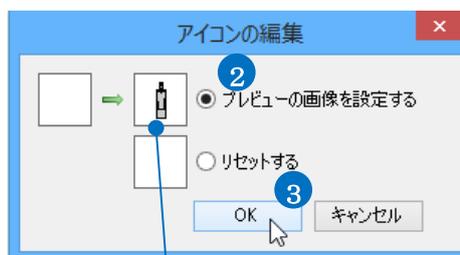
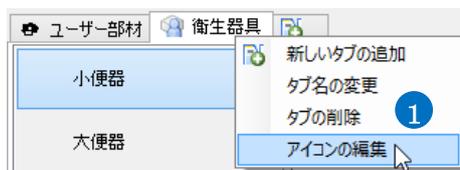
- 1 削除するフォルダを右クリックし、[フォルダの削除]をクリックします。
- 2 [フォルダの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。
→フォルダが削除されます。フォルダ内の登録部材も削除されます。



タブ、リストのアイコン編集

タブのアイコン編集

- 1 アイコンを編集するタブを右クリックし、
[アイコンの編集]をクリックします。
- 2 [アイコンの編集]ダイアログの「プレビューの画像を設定する」にチェックを入れます。
- 3 [OK]をクリックします。
→アイコンが設定できます。

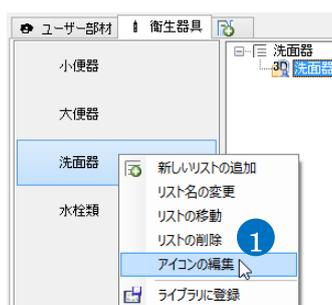


[ユーザー部材の配置]-[プレビュー]の画像が表示されます。



リストのアイコン編集

- 1 アイコンを編集するリストを右クリックし、
[アイコンの編集]をクリックします。
- 2 [アイコンの編集]ダイアログの「プレビューの画像を設定する」にチェックを入れます。
- 3 [OK]をクリックします。
→アイコンが設定できます。



[ユーザー部材の配置]-[プレビュー]の画像が表示されます。

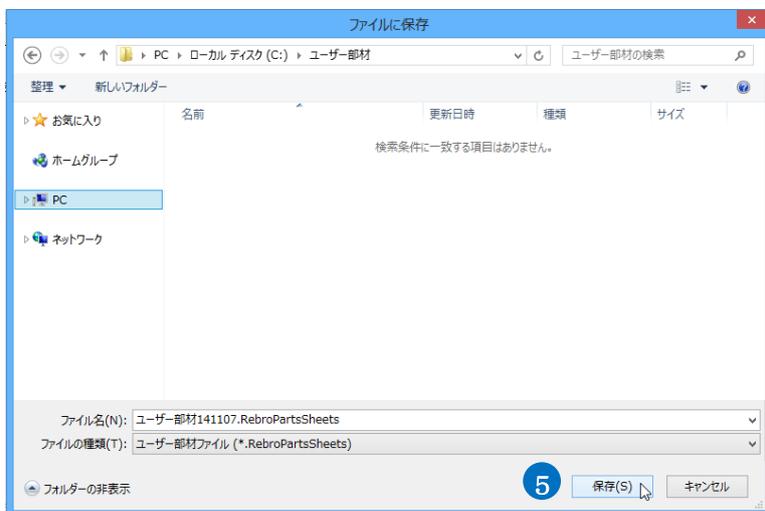
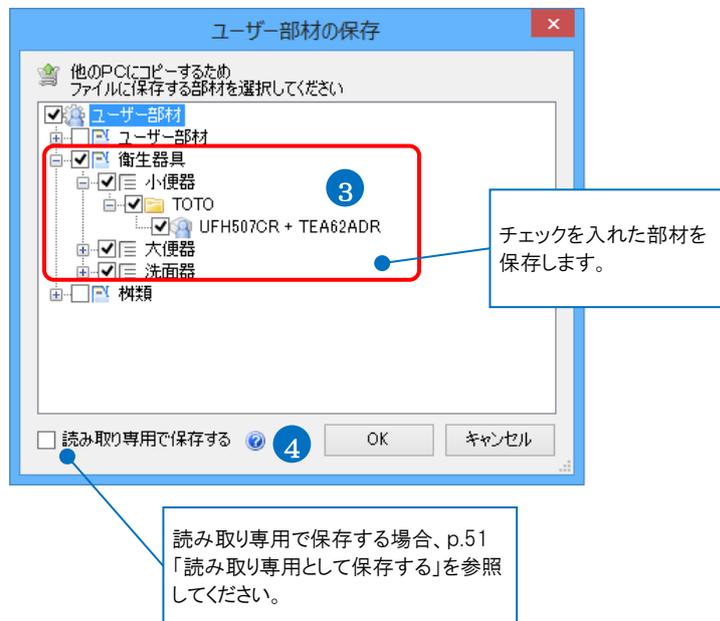
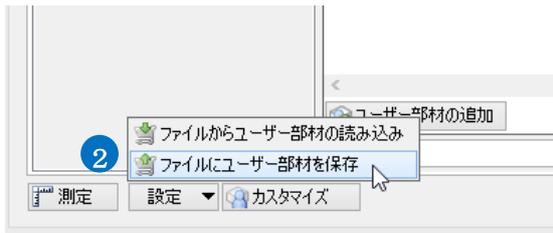


ユーザー部材の保存/読み込み

1. ユーザー部材の保存

登録したユーザー部材をファイルに保存し、受渡しすることができます。

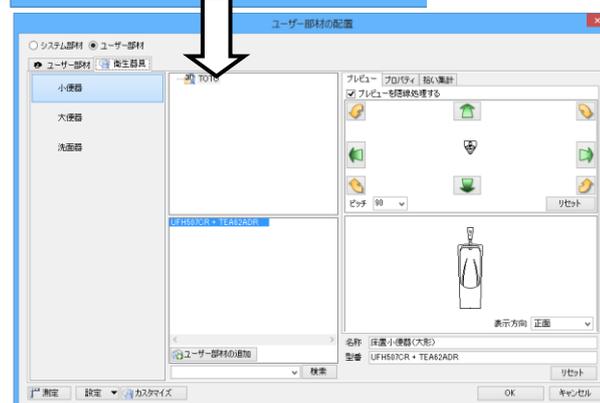
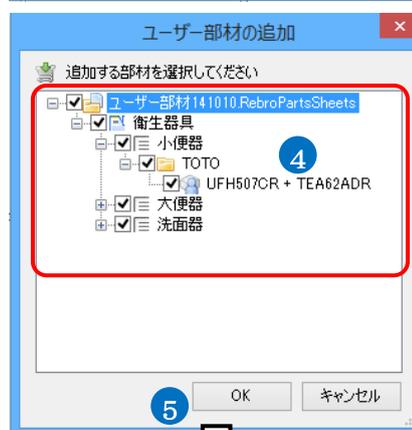
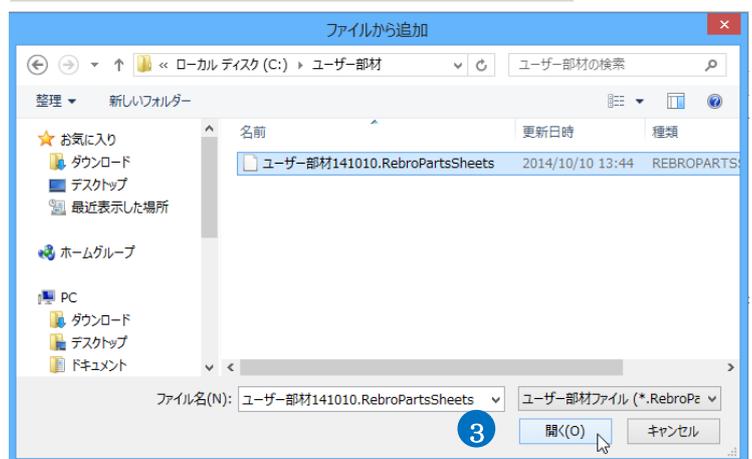
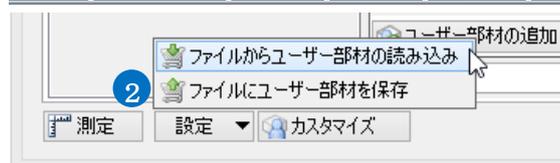
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の保存]ダイアログで保存するユーザー部材にチェックを入れます。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 [ファイルに保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。
→ユーザー部材ファイル
(*RebroPartsSheets)が作成されます。



2. ユーザー部材の読み込み

ユーザー部材ファイルを読み込みます。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]をクリックします。
- 3 [ファイルから追加]ダイアログから読み込むユーザー部材ファイル(*.RebroPartsSheets)を選択し、[開く]をクリックします。
- 4 [ユーザー部材の追加]ダイアログで追加する部材にチェックを入れます。
- 5 [OK]をクリックします。
→ユーザー部材が追加されます。



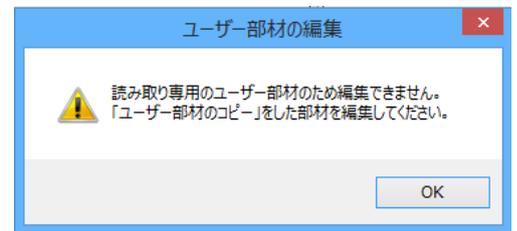
● 補足説明

ユーザー部材には ID が設定されています。同じ ID の部材を読み込む場合、上書きするか別の部材として追加するか、また追加しないかの選択ができます。



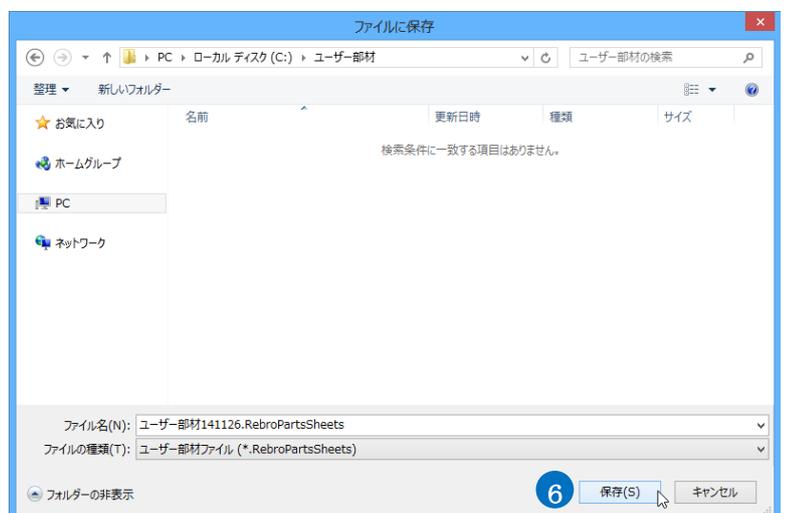
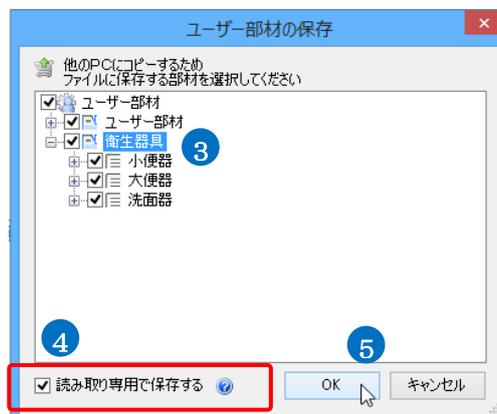
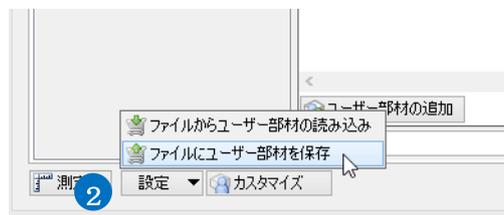
3. 読み取り専用のユーザー部材

部材をファイルに保存する時、「読み取り専用」を設定すると、部材を読み込んだ PC でユーザー部材の編集を禁止することができます。読み込んだ PC で部材を編集しようするとメッセージが表示されます。



読み取り専用として保存する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の保存]ダイアログで保存するユーザー部材にチェックを入れます。
- 4 「読み取り専用で保存する」にチェックを入れます。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [ファイルに保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。
→読み取り専用の部材として保存されます。



読み取り専用を編集する

読み取り専用の部材をコピーし、別部材として編集します。

- 1 [カスタマイズ]をクリックします。
- 2 編集する部材を選択し、コンテキストメニューから[ユーザー部材のコピー]をクリックします。
- 3 コピーされた部材を編集します。

